

第3章 宇陀市の現状

3.1 人口・世帯数の推移

(1) 人口の推移

- ・総人口は、年々減少を続け、ピークであった4.2万人(平成7年)から、平成52年には約2万人に、半減すると予測されています。
- ・高齢者数は平成32年までは増加する予測ですが、それ以降は減少に転じると予測されています。
- ・大宇陀、榛原、菟田野地域では平成27年時点で高齢化率30%以上、室生地域においては40%以上となっています。
- ・男女別人口構成の推移をみると、平成37年には逆ピラミッド型になり、平成47年にはそのまま人口が減少していくと予測されています。

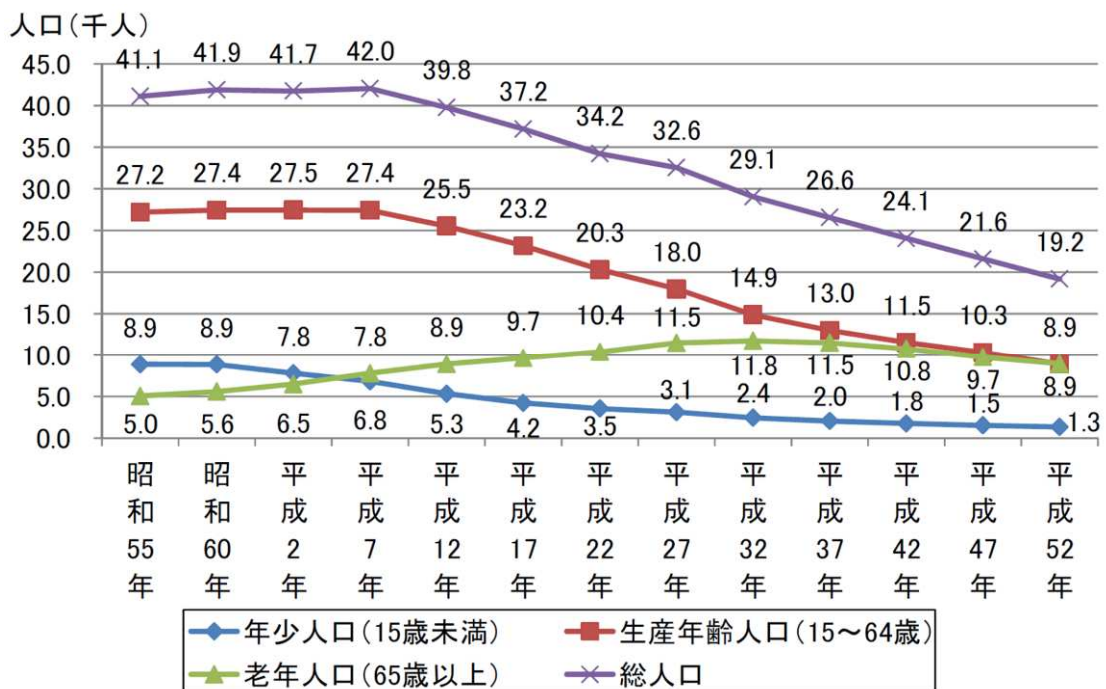
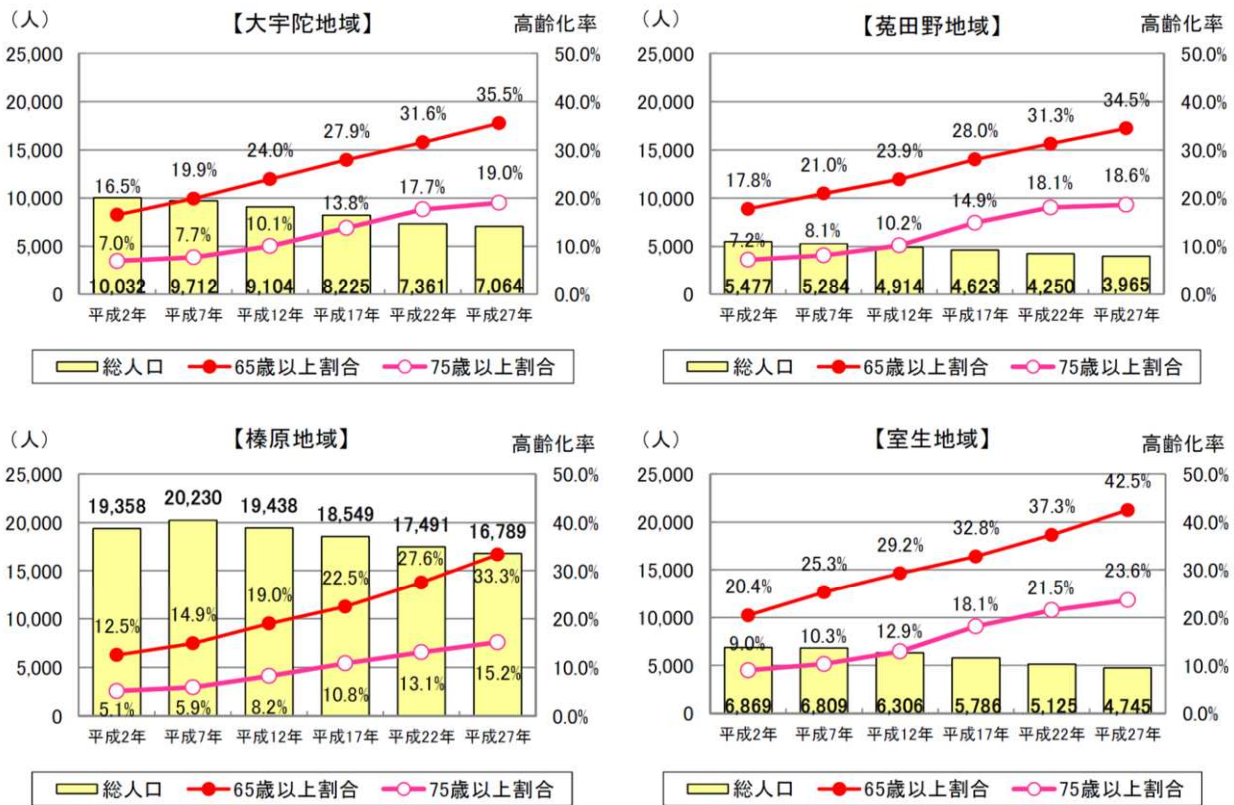


図 人口・世帯数の推移

出典) 宇陀市人口ビジョン



資料：平成2年～平成22年：国勢調査、平成27年：平成27年6月末 住基台帳人口

図 地区別人口・高齢化率の推移

出典) 宇陀市人口ビジョン

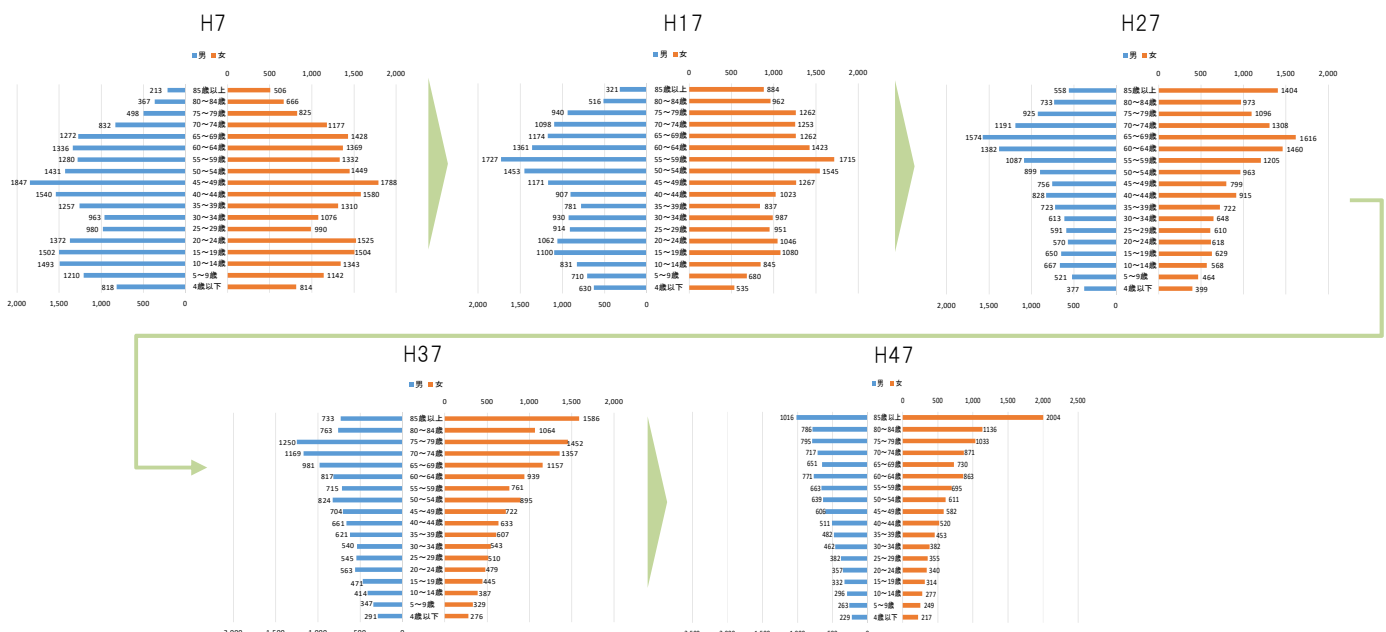


図 人口構成の推移

資料) 国勢調査、日本の地域別将来推計人口

(参考)宇陀市の人口集中地区(DID)の推移

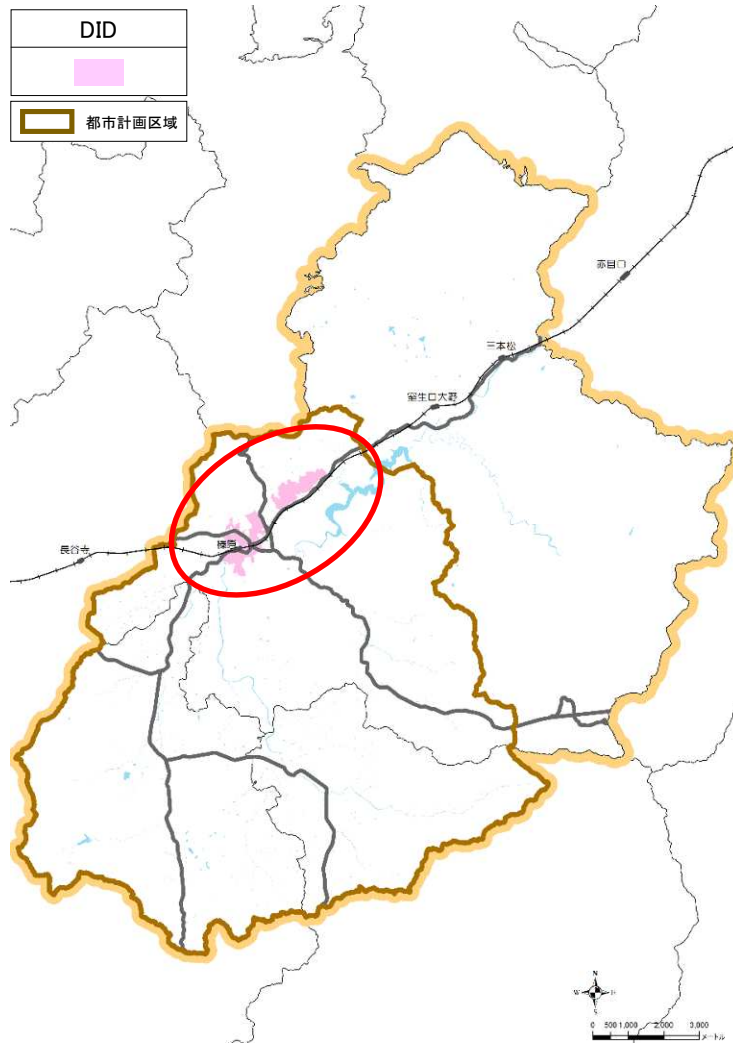
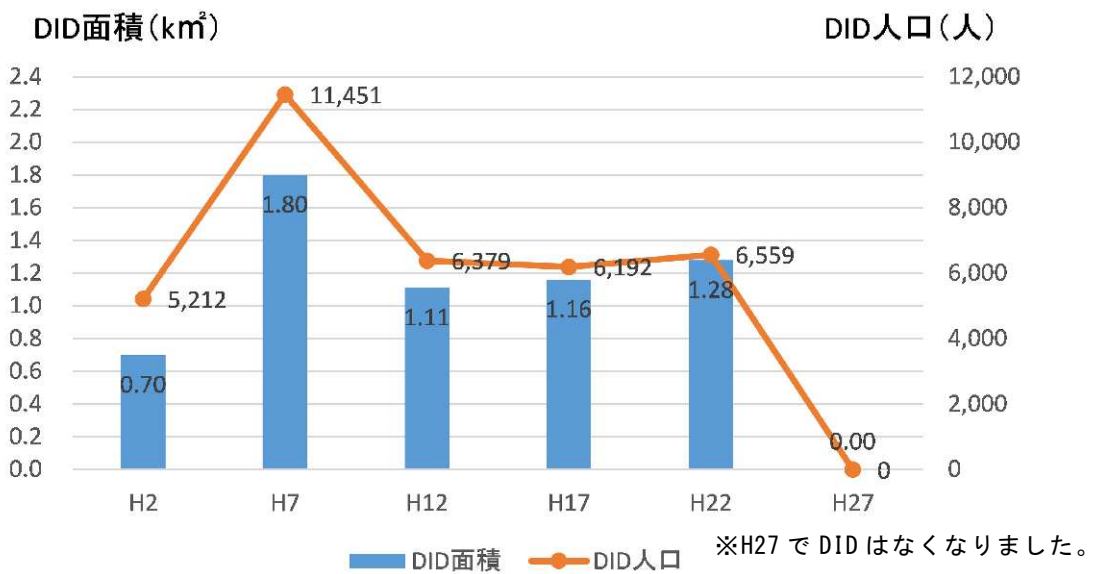


図 H7 DID (宇陀市でもっとも DID 面積が大きかった時)



(2) 100m メッシュ人口

・榛原駅周辺及び天満台、また各地域事務所周辺に人口集積がみられますが、平成47年には平成27年に比べて、榛原駅周辺を除いた市内全域で人口が減少する予測となっています。

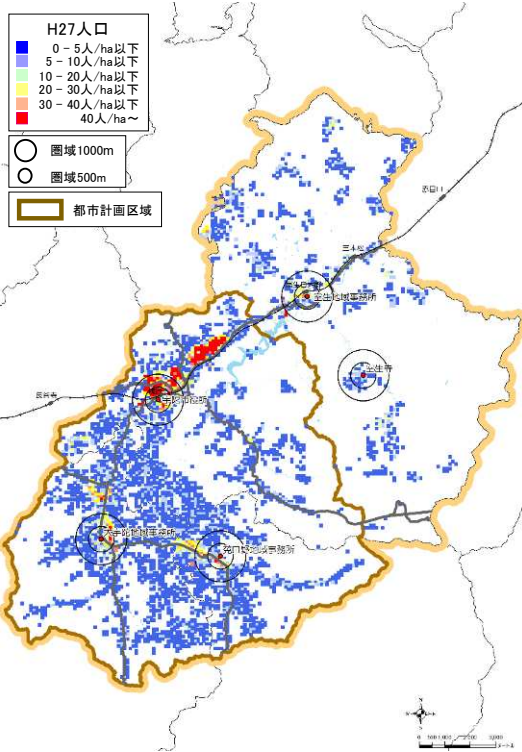


図 H27 人口

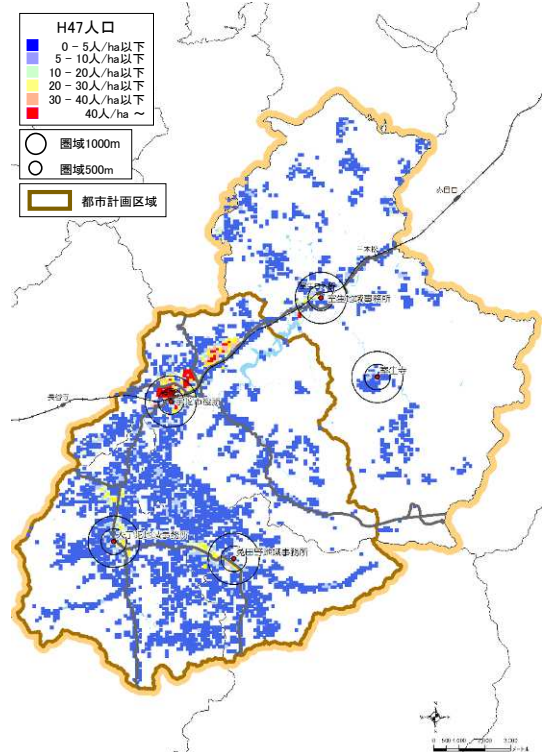


図 H47 人口

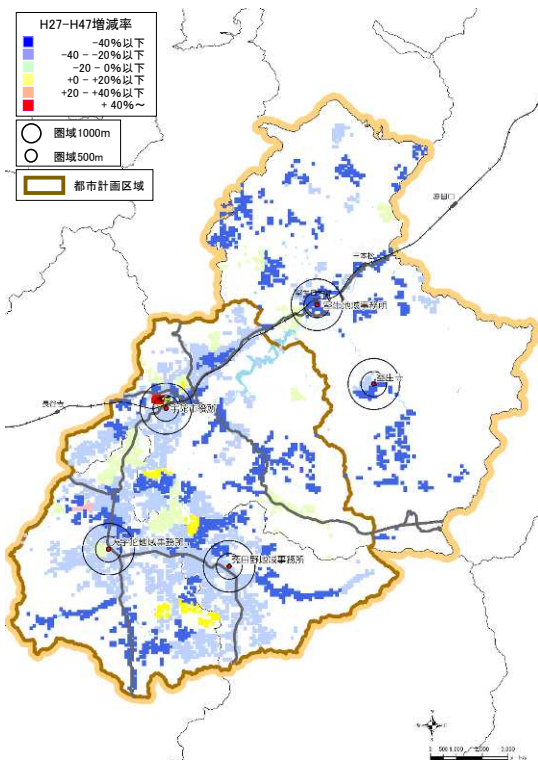


図 H27-H47 人口増減率

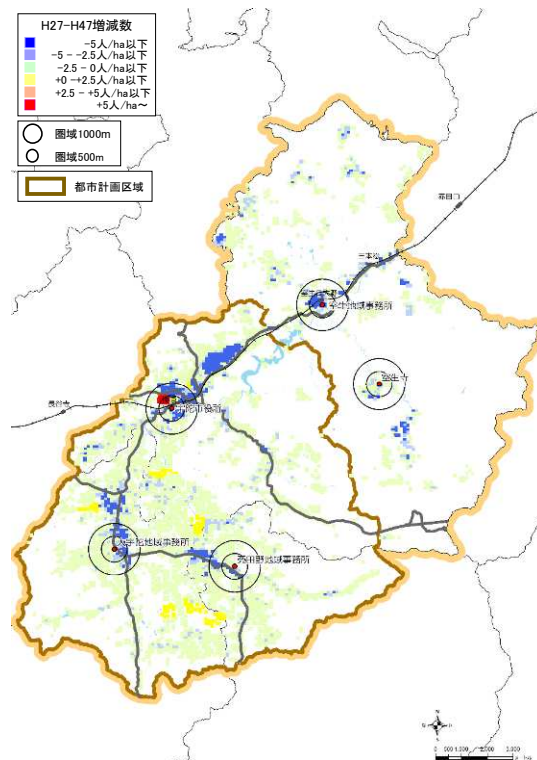


図 H27-H47 人口増減数

(3) 高齢者人口

・高齢化率は、平成27年では市内全体で概ね30%以上となっていますが、平成47年には市内全体で概ね40%以上となります。高齢化率が高まる一方、特に地域事務所等のある中心部以外では、人口減少に伴い高齢者も減少する地域が出てきます。

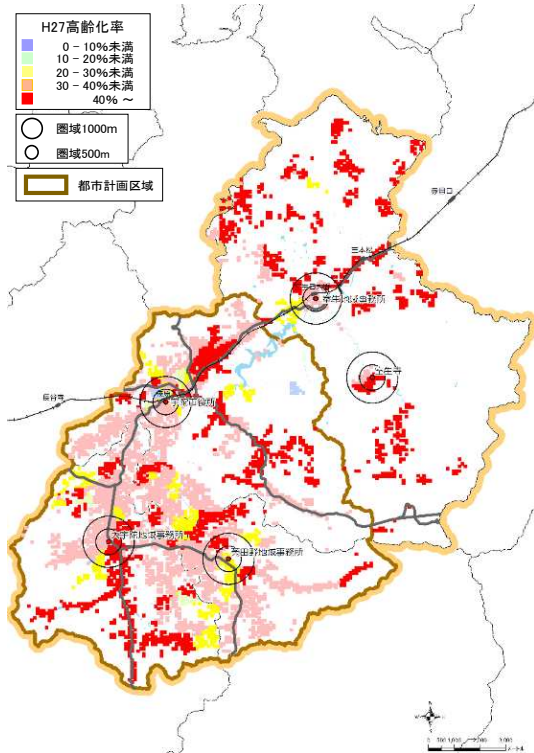


図 H27 高齢化率

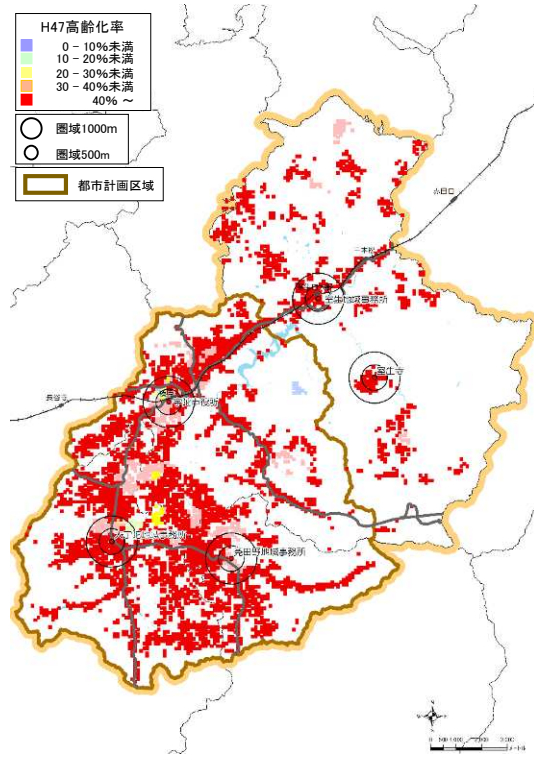


図 H47 高齢化率

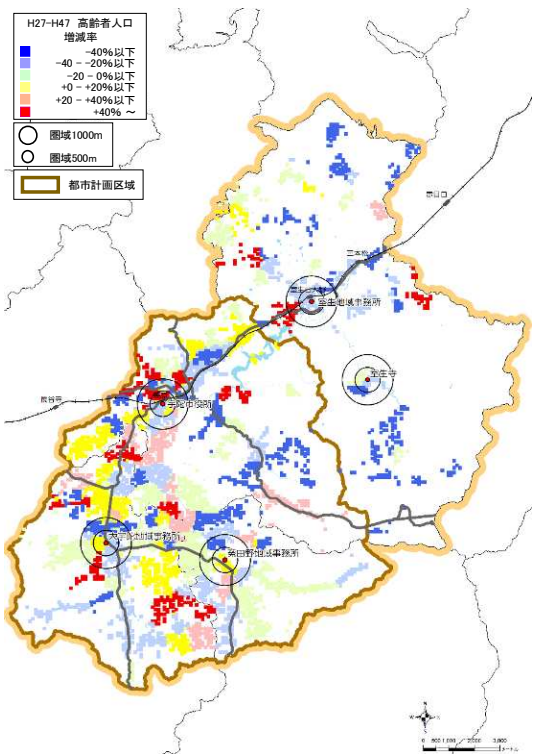


図 H27-H47 高齢者人口増減率

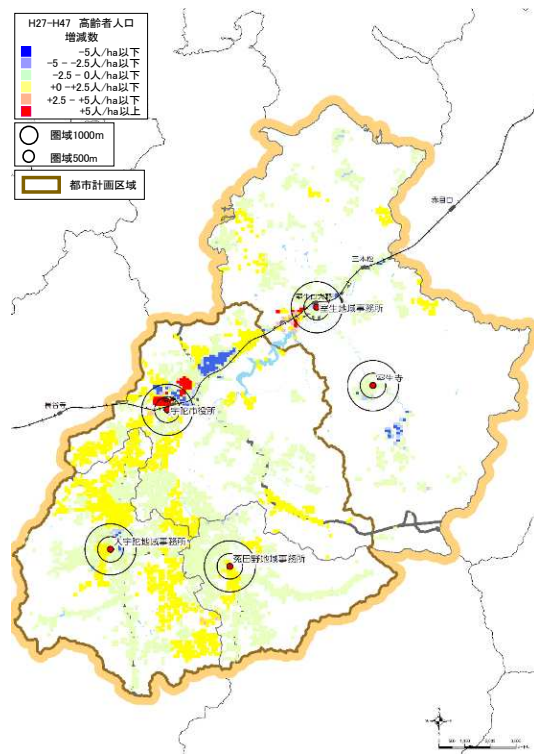


図 H27-H47 高齢者人口増減数

(4) 生産年齢人口

・生産年齢人口は、榛原駅周辺の一部を除き、ほぼ市内全域で減少することが予測されます。

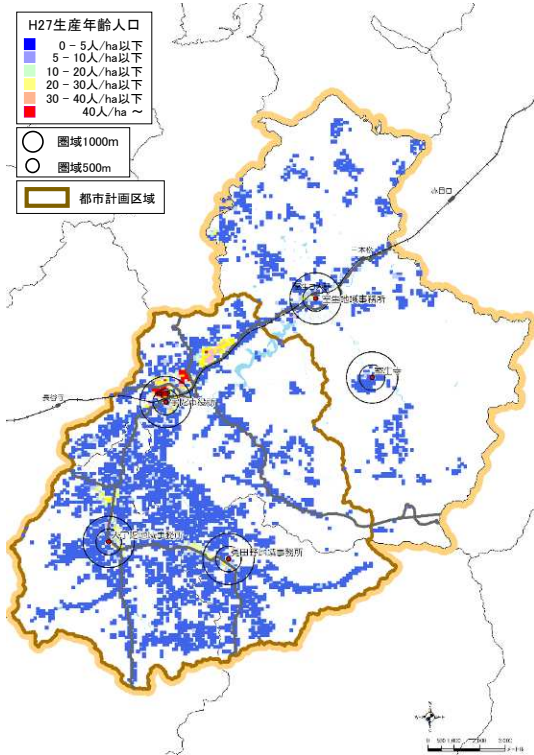


図 H27 生産年齢人口

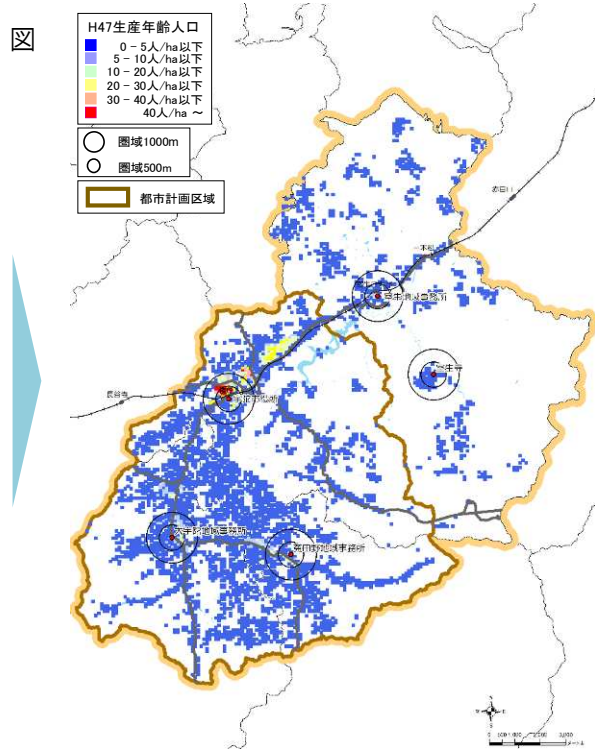


図 H47 生産年齢人口

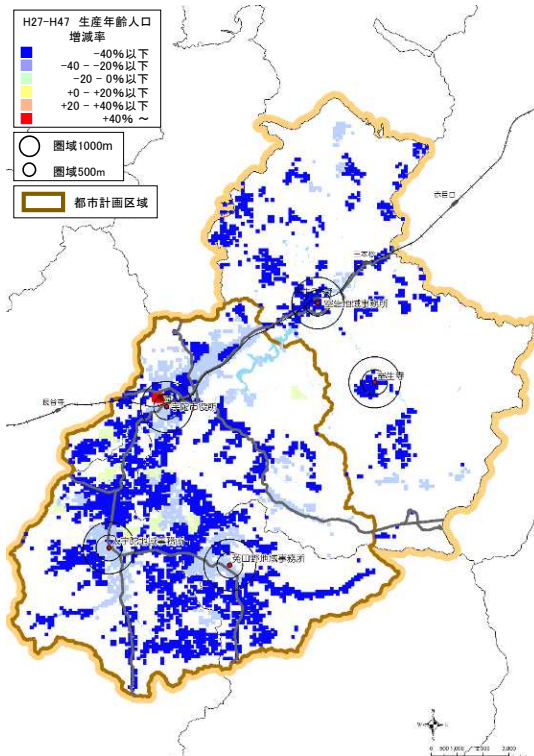


図 H27-H47 生産年齢人口増減率

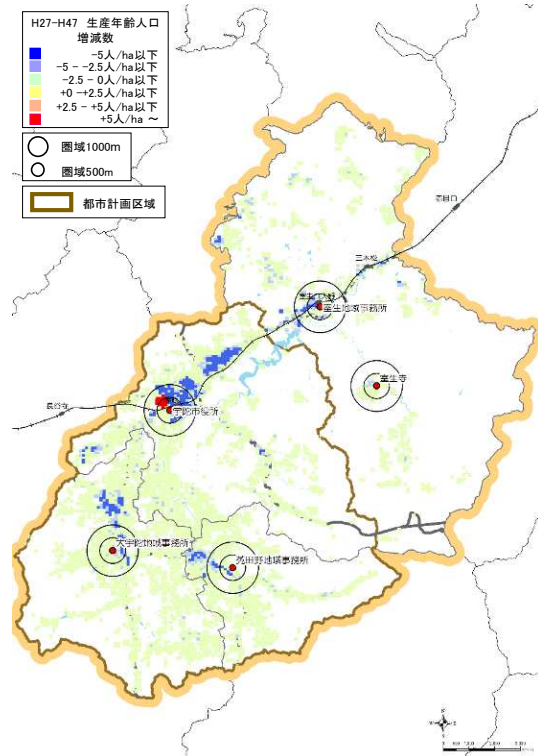
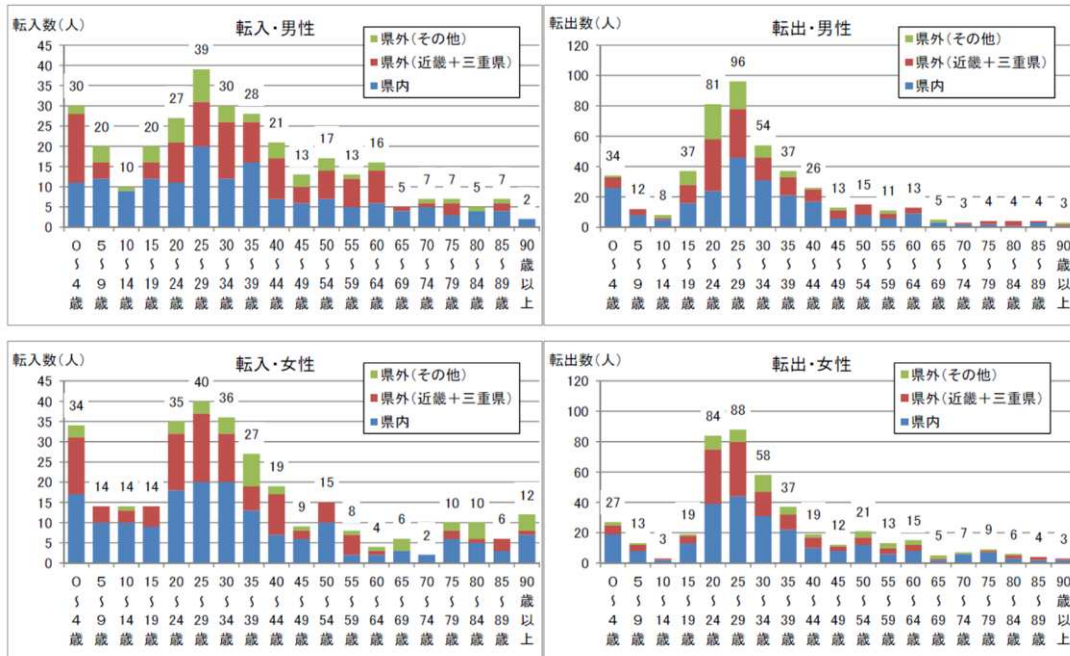


図 H27-H47 生産年齢人口増減数

(5) 転出・転入人口の状況

・20歳代から30歳代前半までの転出が顕著で、逆に高齢者は若干転入超過の状況にあります。



出典) 宇陀市人口ビジョン

図 男女別・年齢別 転入・転出者数

・市西部への転出が多く、桜井市や奈良県東部地域等からの転入がみられます。

表 転入元別転入者数・転出先別転出者数

転入元	転入者数
県内	326
桜井市	78
奈良市	51
橿原市	46
大和郡山市	15
天理市	15
曾爾村	12
香芝市	10
田原本町	10
東吉野村	10
その他(10人未満)	79
県外(近畿+三重県)	218
三重県	53
滋賀県	7
京都府	12
大阪府	112
兵庫県	26
和歌山県	8
県外(その他)	88
合計	632

転出先	転出者数
県内	479
桜井市	158
橿原市	86
奈良市	49
香芝市	24
大和郡山市	20
田原本町	19
大和高田市	16
天理市	16
その他(10人未満)	91
県外(近畿+三重県)	296
三重県	57
滋賀県	8
京都府	25
大阪府	159
兵庫県	39
和歌山県	8
県外(その他)	128
合計	903

出典) 宇陀市人口ビジョン

■ 転入・転出者アンケート結果

・転入・転出の要因に着目すると、いずれも「結婚」や「就職・転職」が大きなきっかけとなっています。

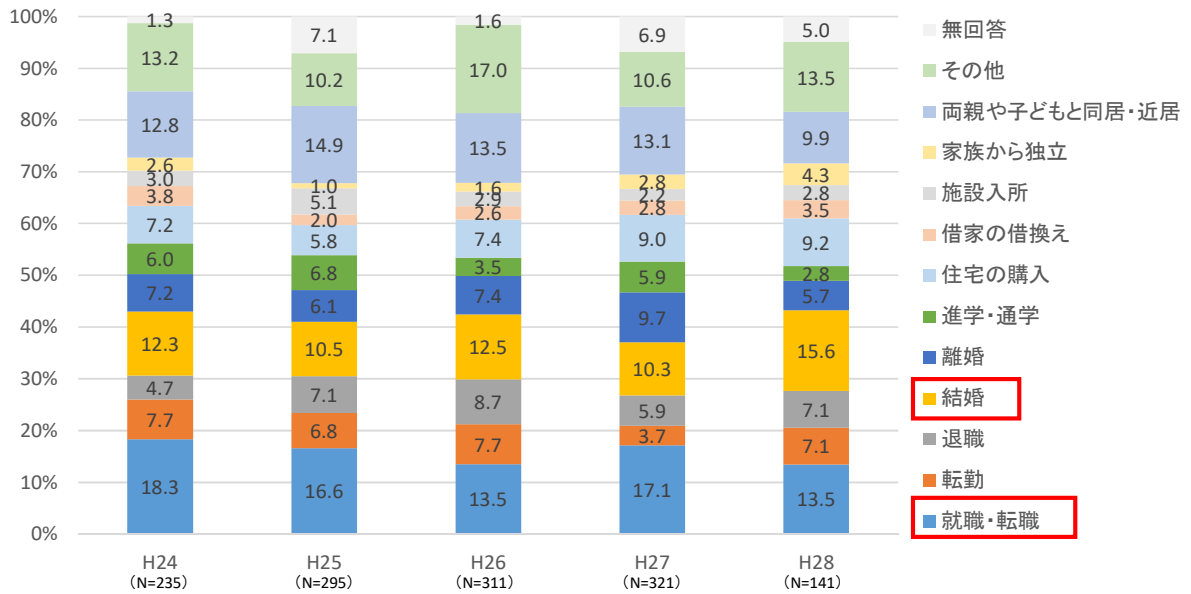


図 転入することとなったきっかけ

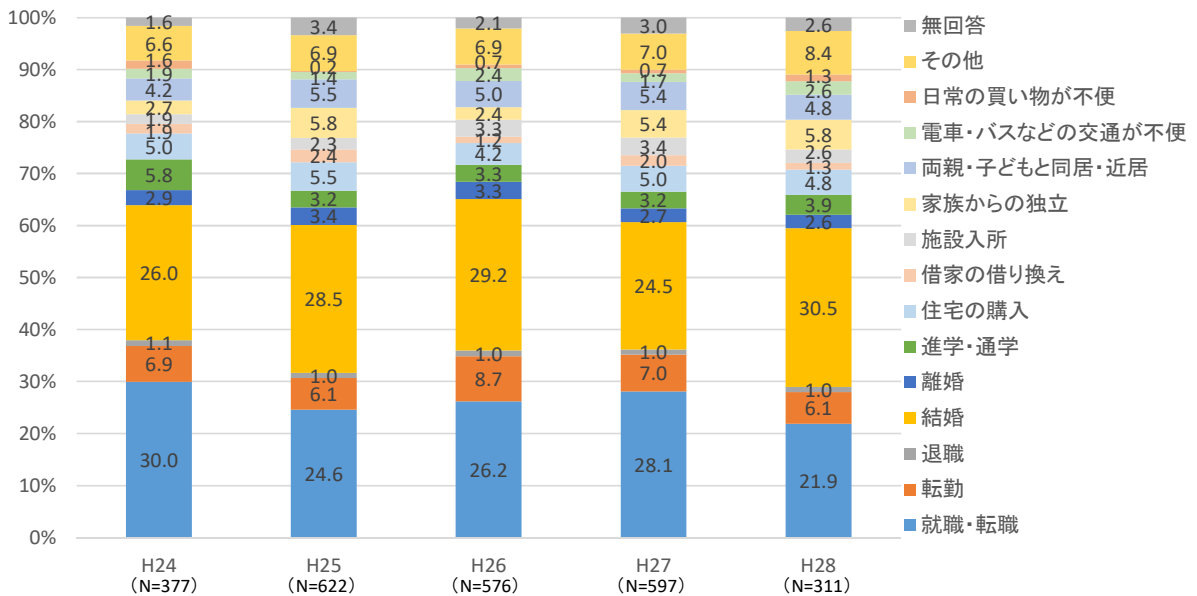


図 転出することとなったきっかけ

出典) 転入・転出者アンケート

・転入者は「交通の不便性」「買い物の不便性」に強く不満を感じています。転出者は「いずれもどる予定」「機会があればもどりたい」という意向が約半数を占めています。

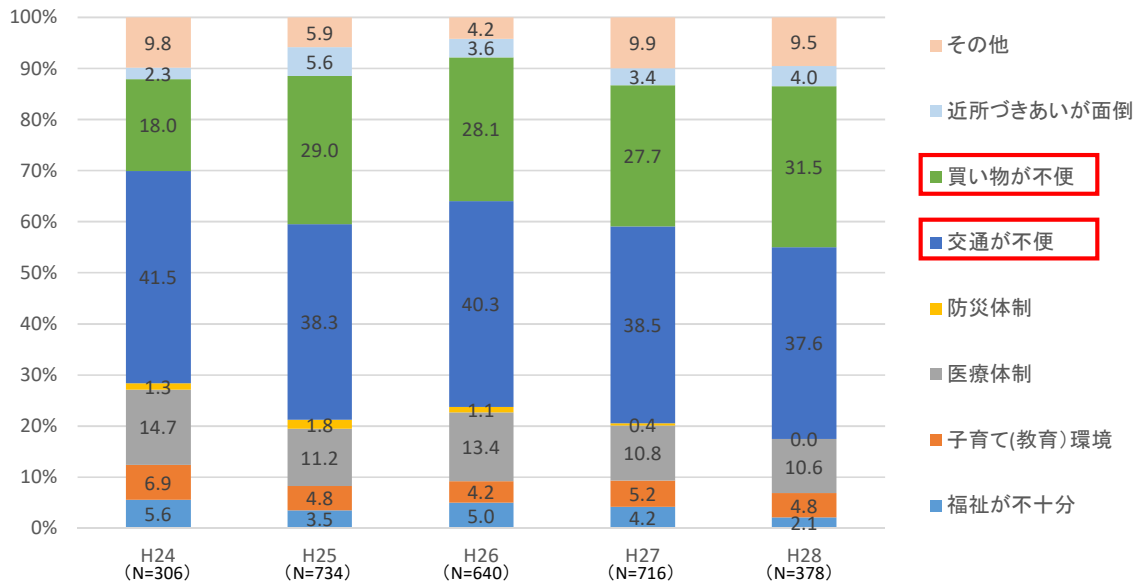


図 宇陀市に居住して感じた不満

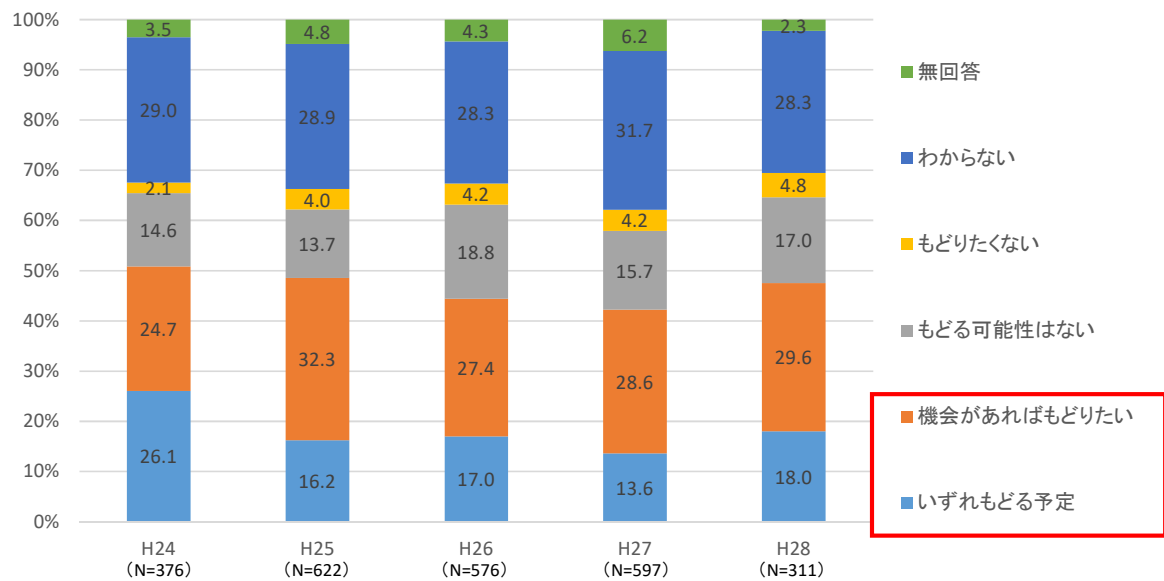


図 宇陀市にもう一度もどりたいと思うか

出典) 転入・転出者アンケート

3.2 土地利用

(1) 土地利用状況の推移

・一定の法規制のもとでの都市的土地利用転換がなされています。

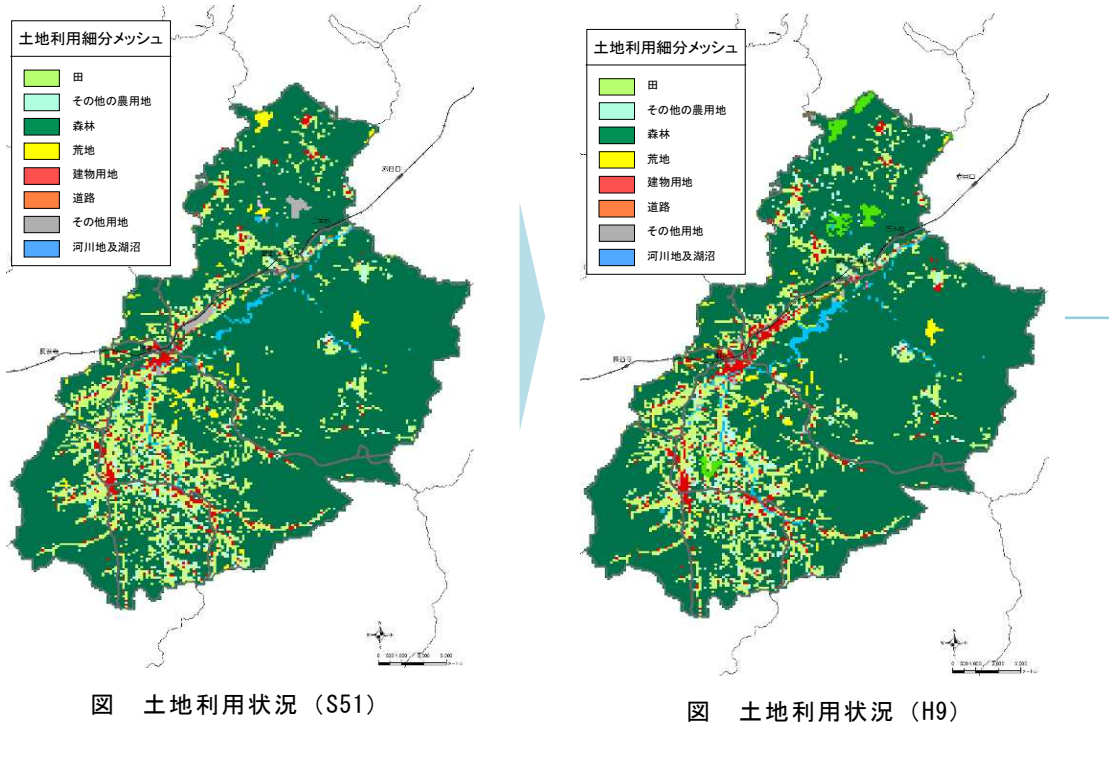


図 土地利用状況 (S51)

図 土地利用状況 (H9)

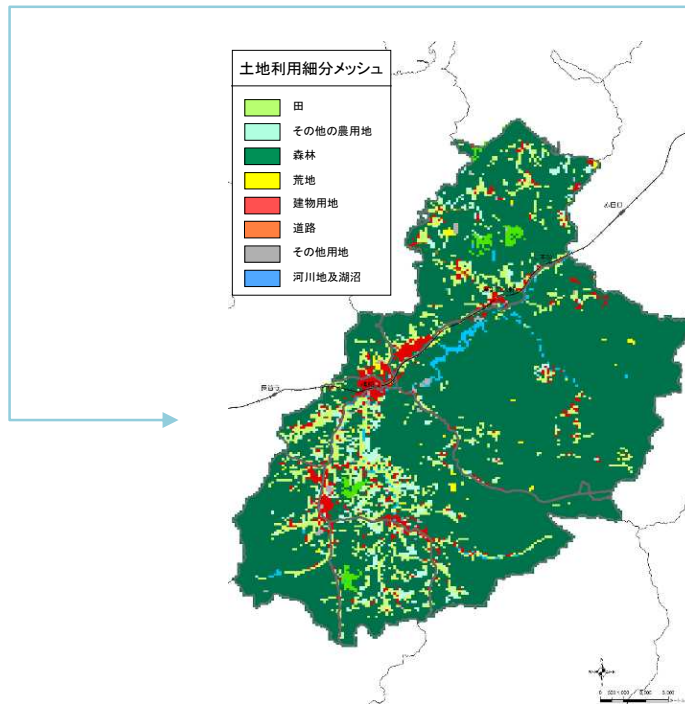


図 土地利用状況 (H26)

出典) 国土数値情報

(2) 用途地域

・都市計画区域のうち、用途地域が指定されているのは、榛原、大宇陀、菟田野の中心部周辺のみとなっています。

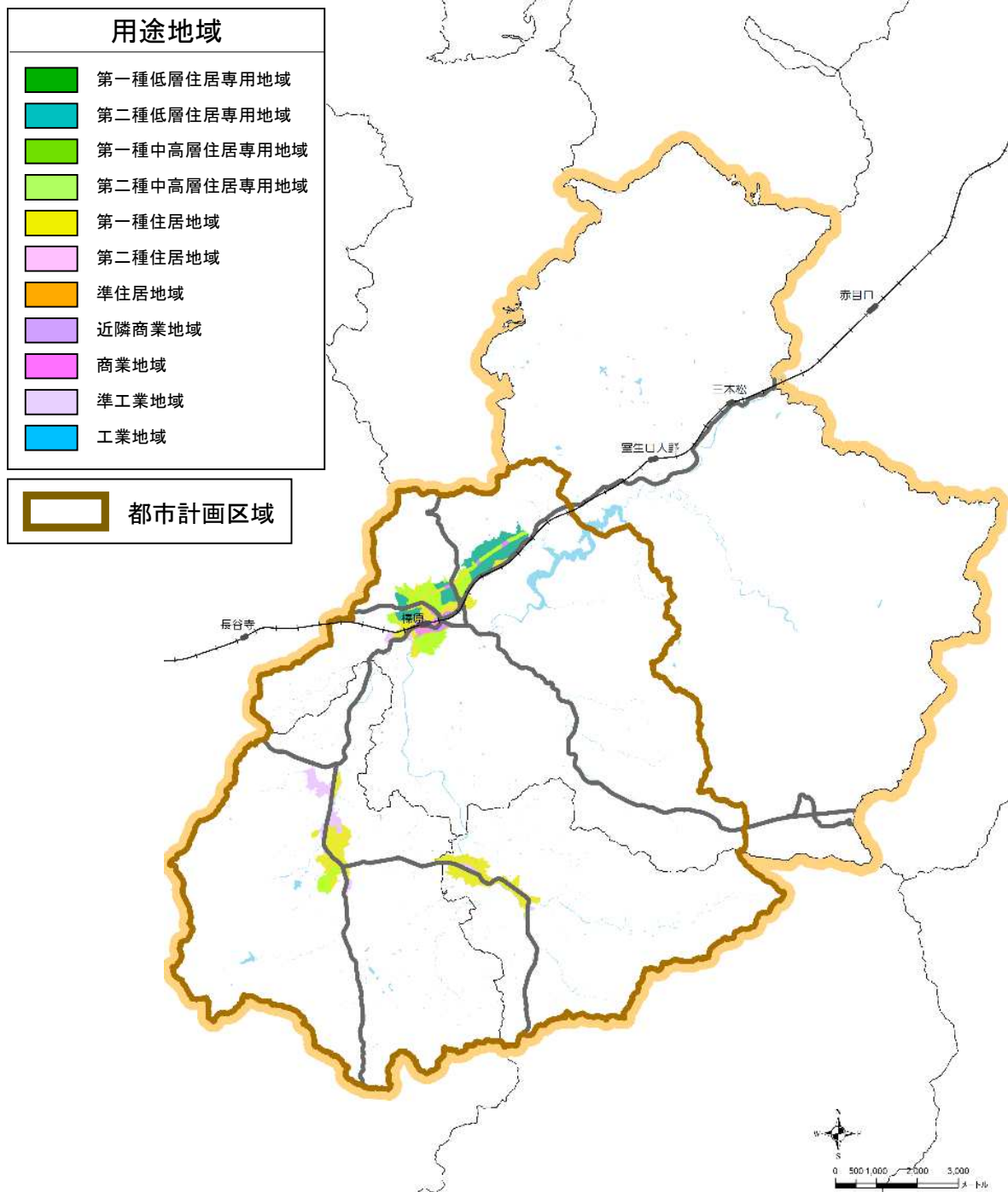


図 用途地域の状況

資料) 平成 26 年度都市計画基礎調査

3.3 開発許可の動向

(1) 市街化区域内開発許可の状況

・榛原地域、大宇陀地域の市街化区域で各1件ずつ商業用の開発許可がなされています。

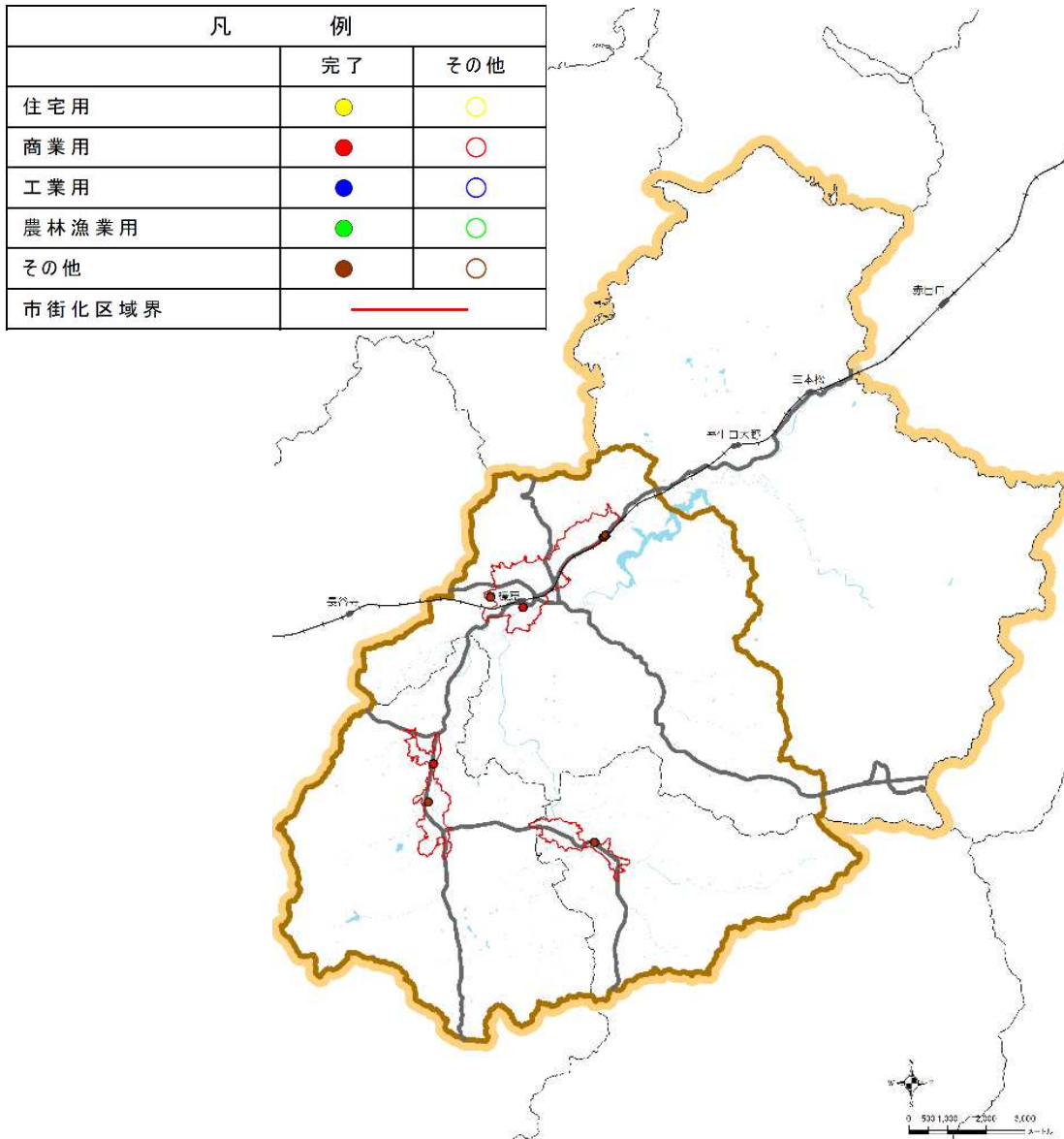


図 市街化区域内開発許可状況（平成21年度～25年度分）

資料) 平成26年度都市計画基礎調査

(2) 市街化調整区域内開発許可の状況

・市街化調整区域においても十数箇所の開発がなされています。

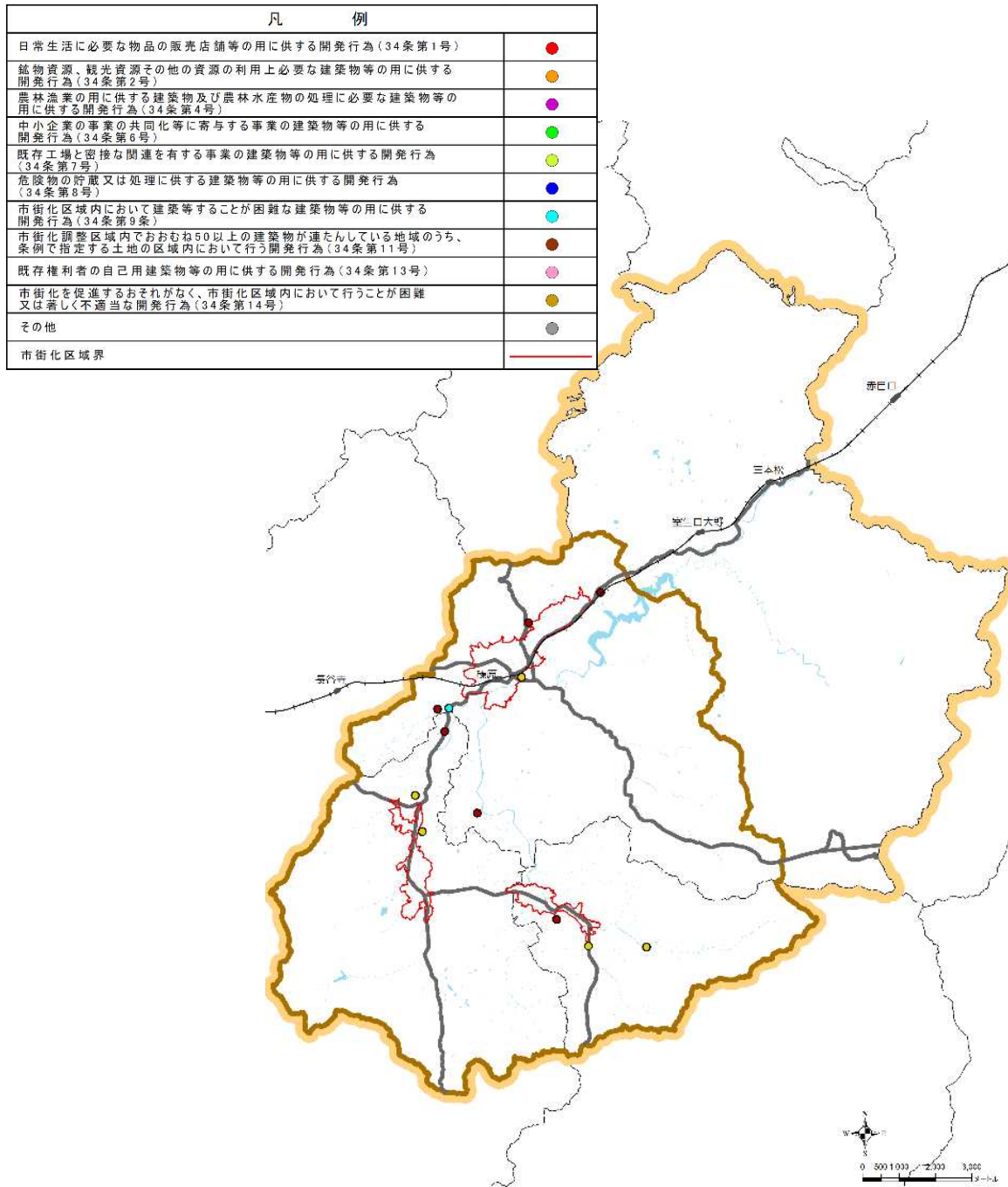


図 市街化調整区域内開発許可の状況 (平成 21 年度～25 年度分)

資料) 平成 26 年度都市計画基礎調査

(3) 市街化の動向

・榛原駅西側地域において住宅系の市街地開発事業が実施されています。

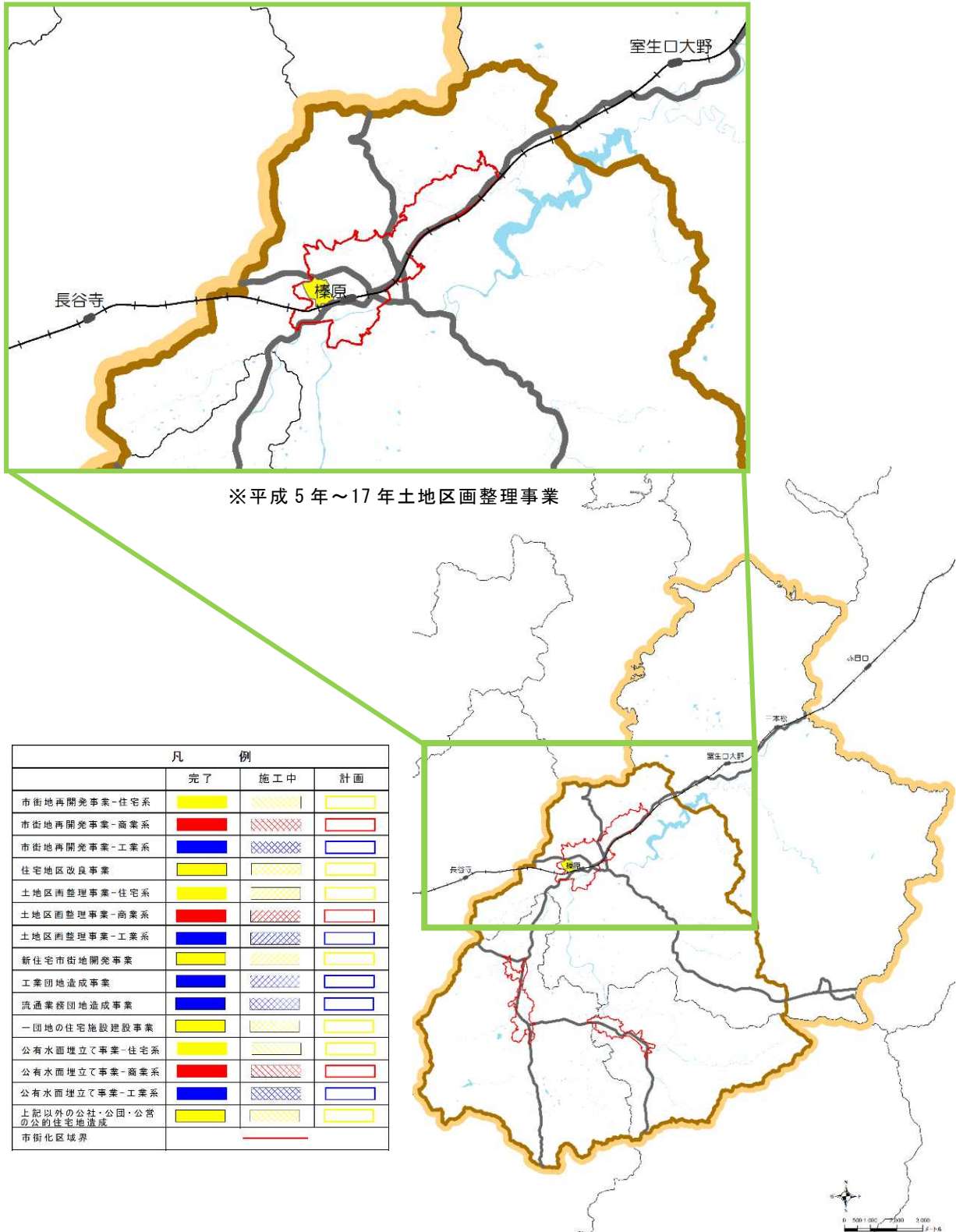


図 市街地開発事業等位置図

3.4 空き家の動向

- ・平成 25 年の空き家率は平成 20 年と比べて高くなっており、15.9%となっています。
- ・一戸建(木造)の割合は増加傾向にあります。
- ・約半数が昭和 55 年以前の建築(新耐震基準以前のもの)となっています。
- ・築年数の古い木造住宅が増加することで、空き家数もますます増加することが予測されます。

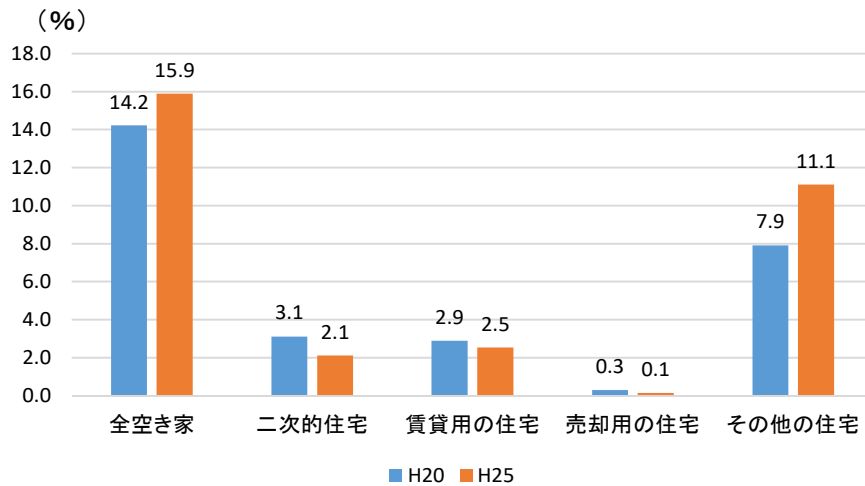


図 空き家の種類別空き家率

資料) 住宅・土地統計調査

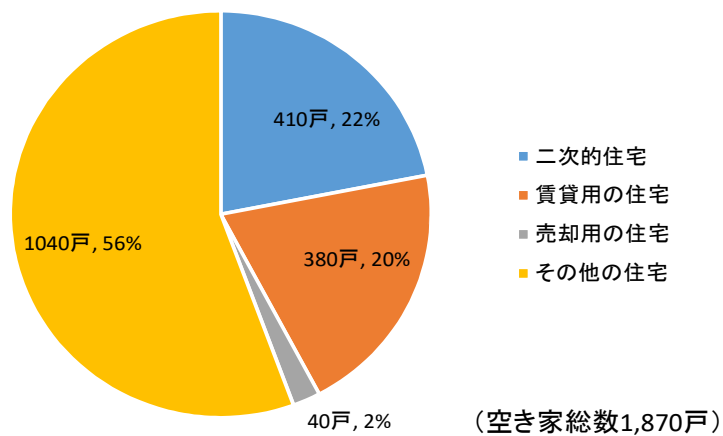


図 空き家の種類別割合 (H25)

資料) 住宅・土地統計調査

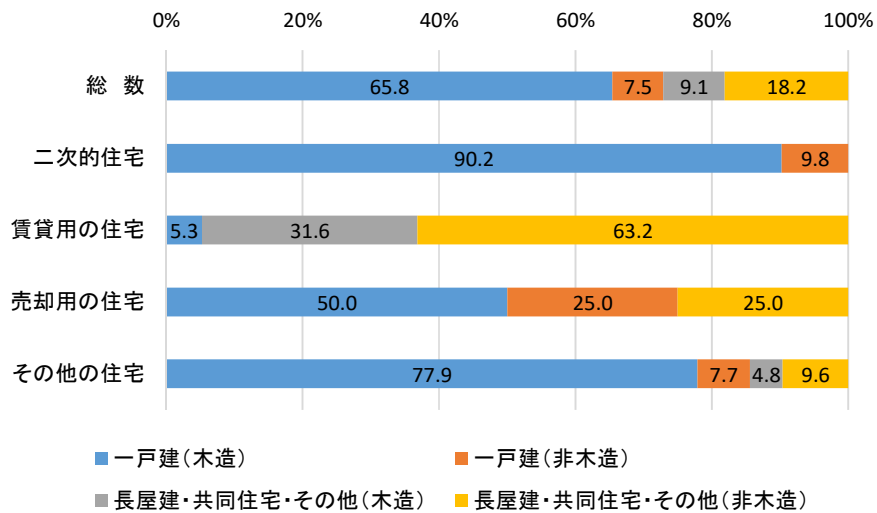


図 空き家の種類別の建て方 (H20) 資料) 住宅・土地統計調査

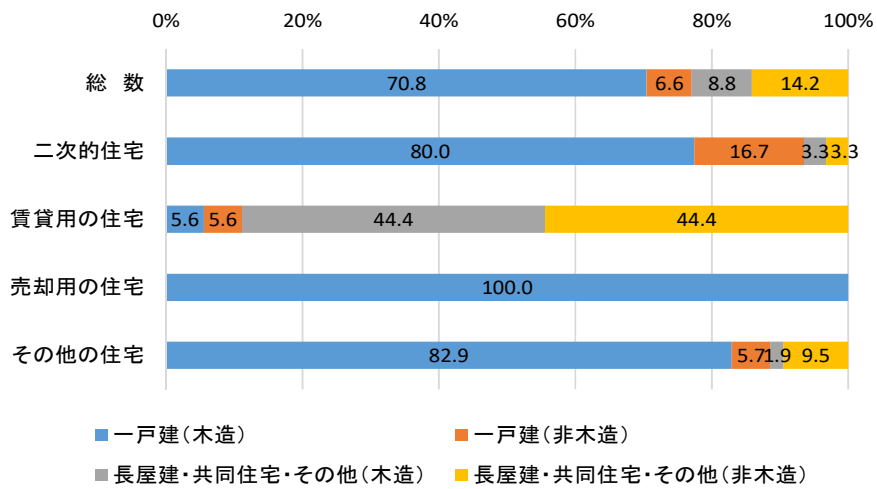


図 空き家の種類別の建て方 (H25) 資料) 住宅・土地統計調査

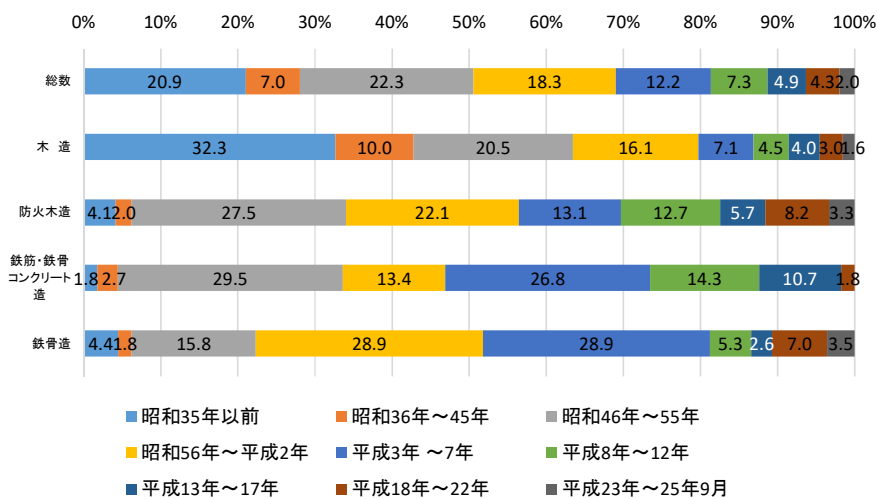
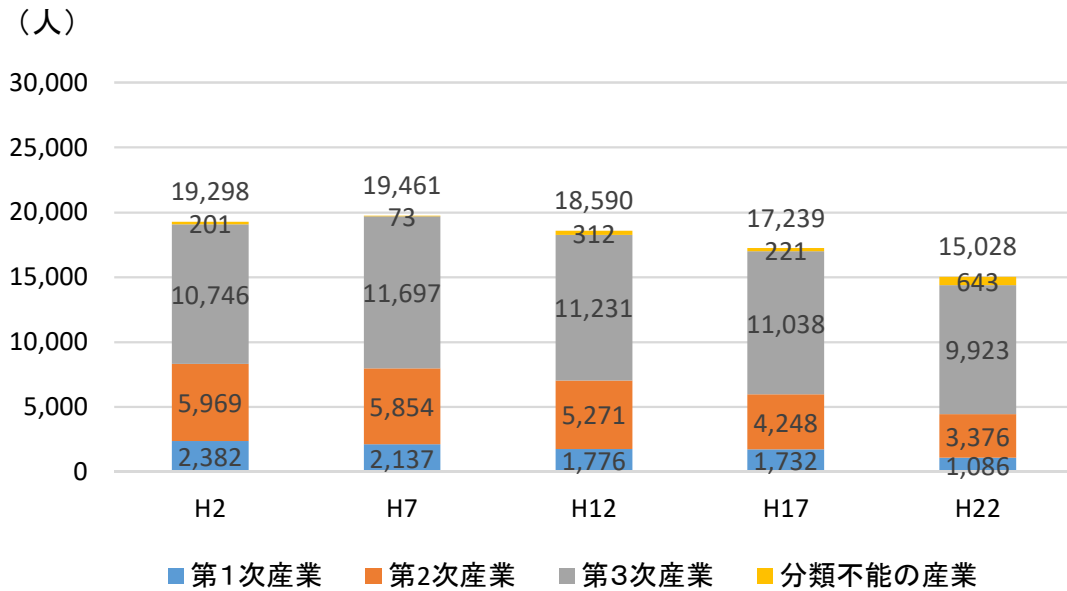


図 築年数別の住宅数割合 (H25) 資料) 住宅・土地統計調査

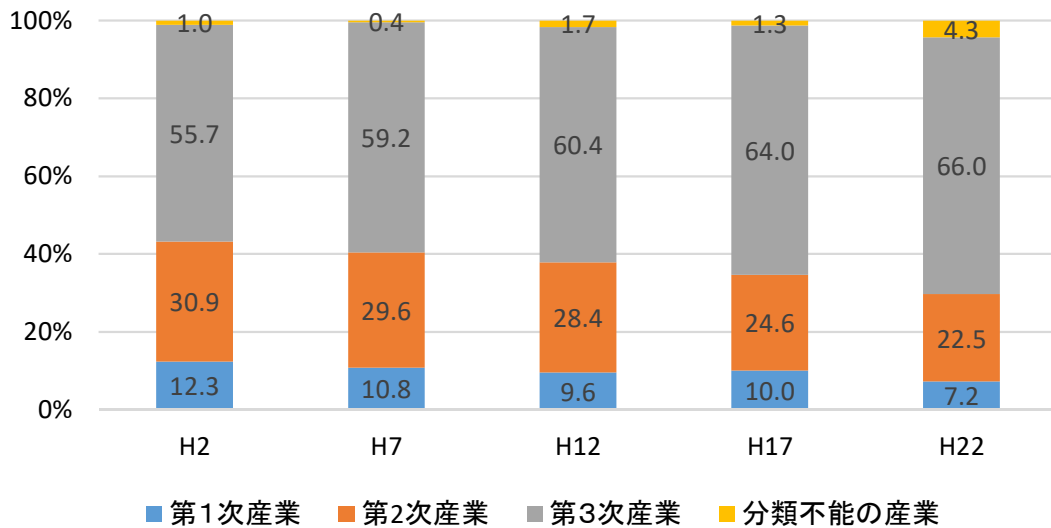
3.5 工業・商業

・平成7年以降いずれの産業従事者も減少が見られますが第3次産業の割合は増加が見られます。



資料) 宇陀市統計

図 産業別従事者数の推移



資料) 宇陀市統計

図 産業別従事者数の推移

3.6 交通体系

(1) 交通流動の動向

- ・榛原地域内及び榛原地域から市外への流動が多くなっていますが、地域間の流動では榛原地域への流動が多くなっています。
- ・いずれの地域も地域内の流動割合が最も大きく34～54%程度となっています。
- ・御杖村、東吉野村では村外への流動割合は宇陀市への割合が最も大きく、それぞれ15.0%、19.2%となっています。

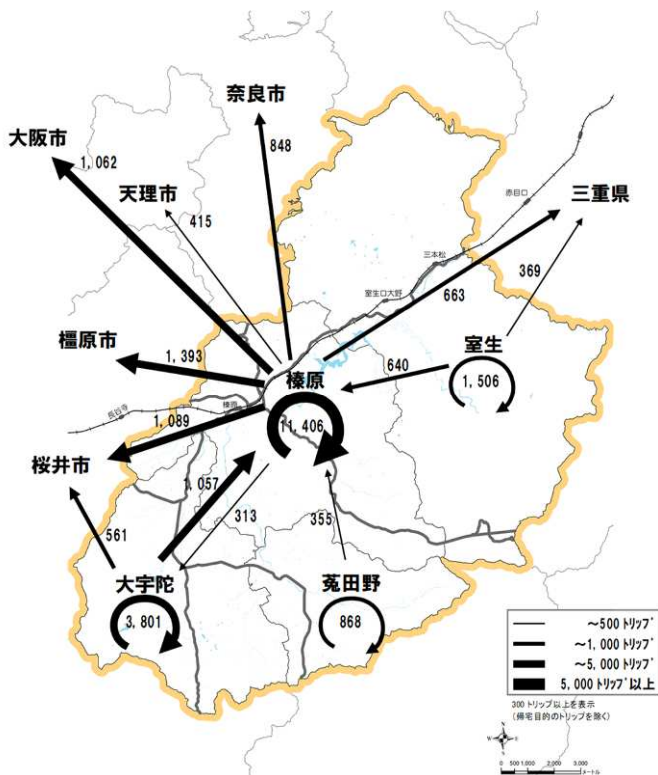


図 宇陀市発の流動

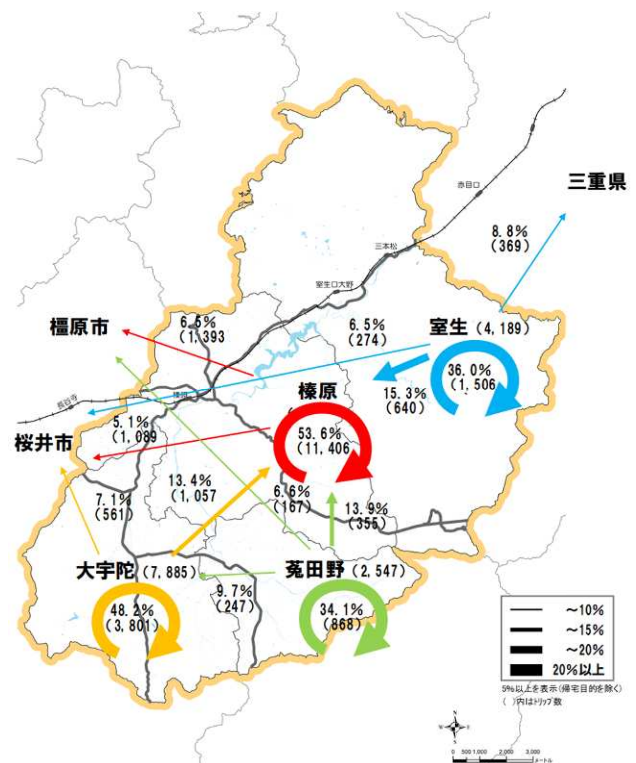


図 宇陀市内地区別の流動の割合
(各地区発の流動の割合)

出典) 第5回近畿圏パーソントリップ調査

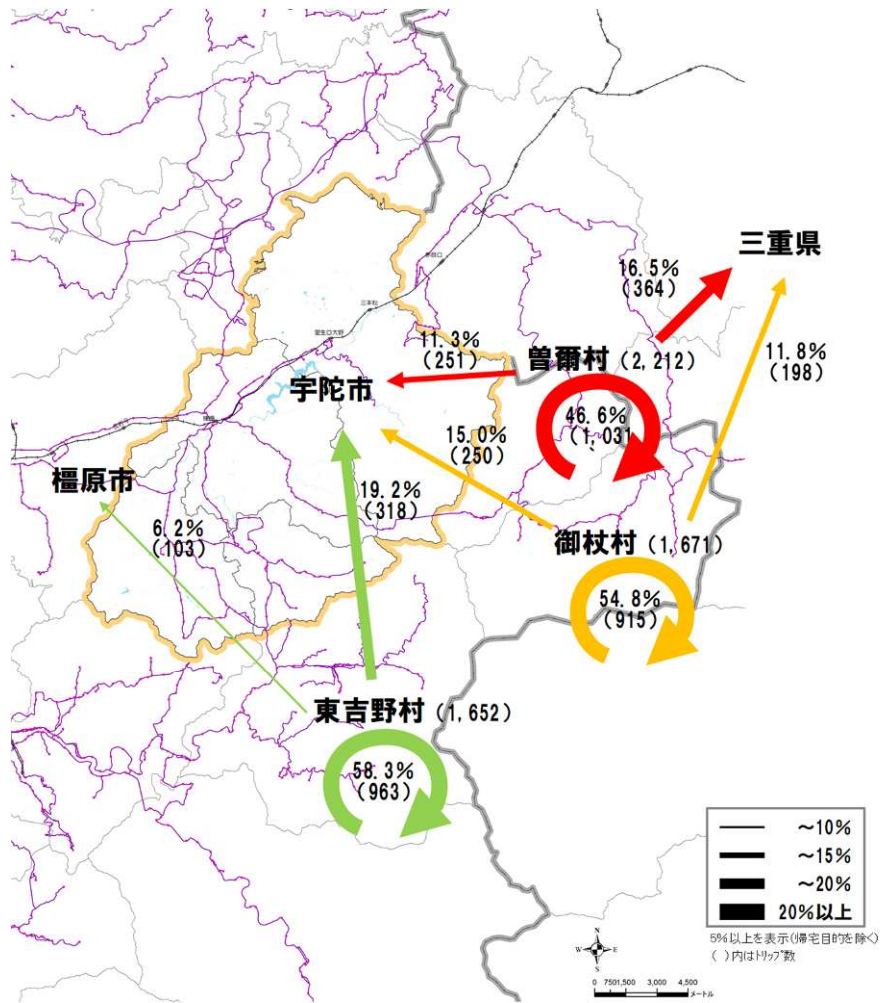


図 奈良県東部からの流動の割合
(各村発の流動の割合)

出典) 第5回近畿圏パーソントリップ調査

(2) 公共交通網のサービス水準

- ・近鉄大阪線、奈良交通、市営有償バス、過疎地有償バス、コミュニティバスが運行しており、その他デマンド型タクシーやスクールバスも運行しています。
- ・鉄道駅 800m 圏及びバス停 300m 圏に含まれない地域が市内全体に広がっています。
- ・奈良県東部では、榛原駅を中心としたバス路線網が曽爾村、御杖村、東吉野村へ広がっています。

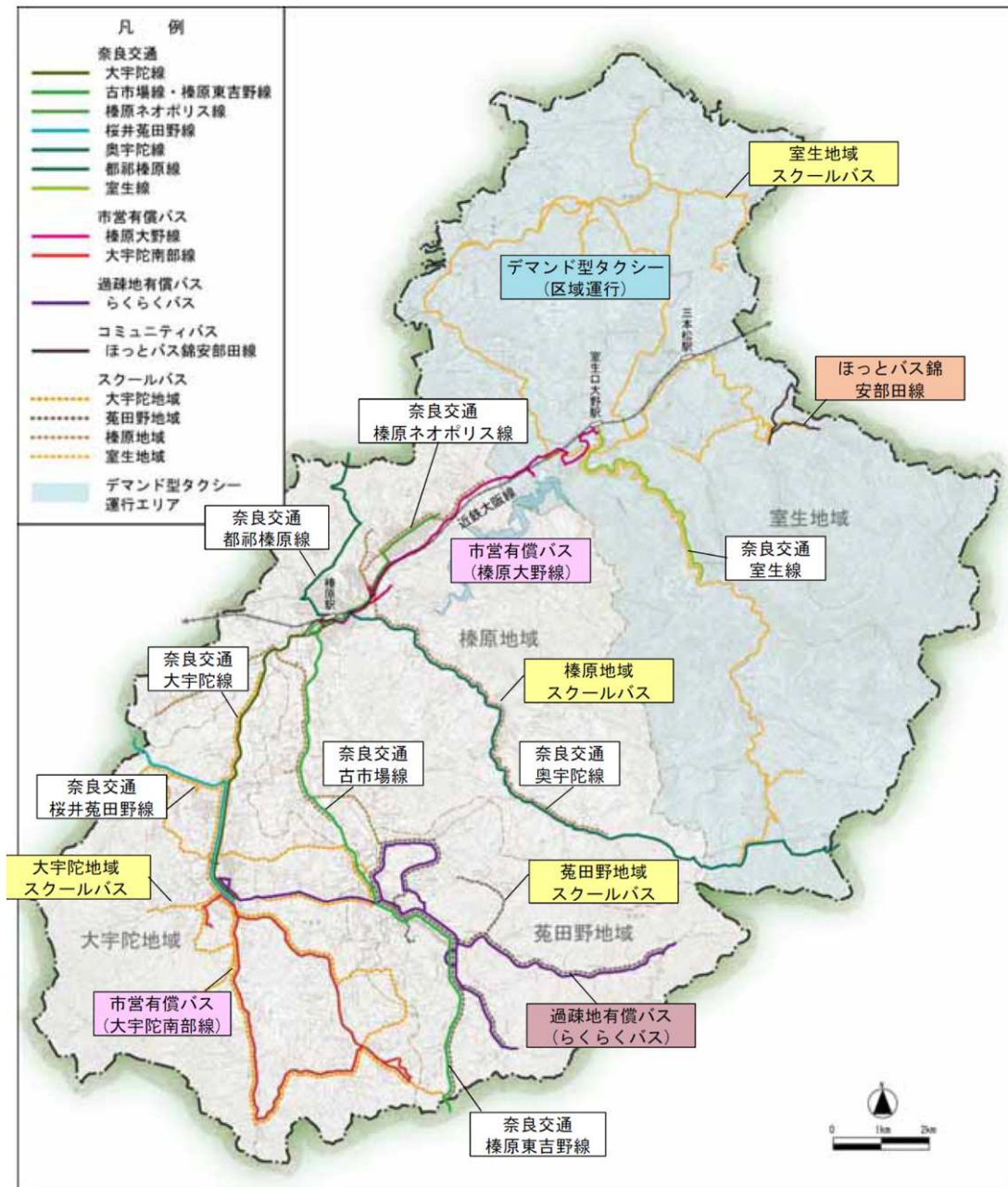


図 公共交通ネットワーク

出典) 宇陀市地域公共交通網形成計画 (資料編)

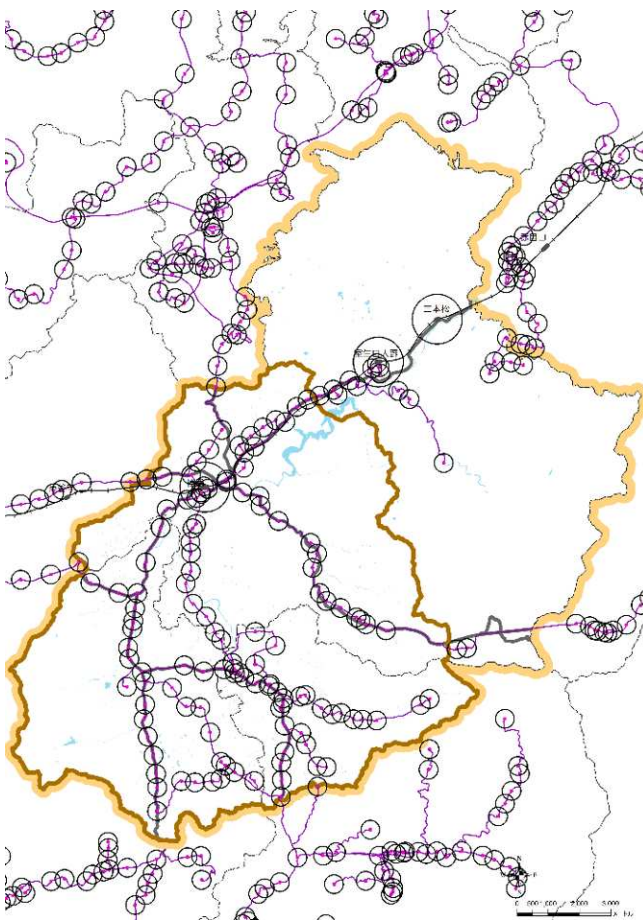


図 鉄道駅 800m 圏・バス停 300m 圏

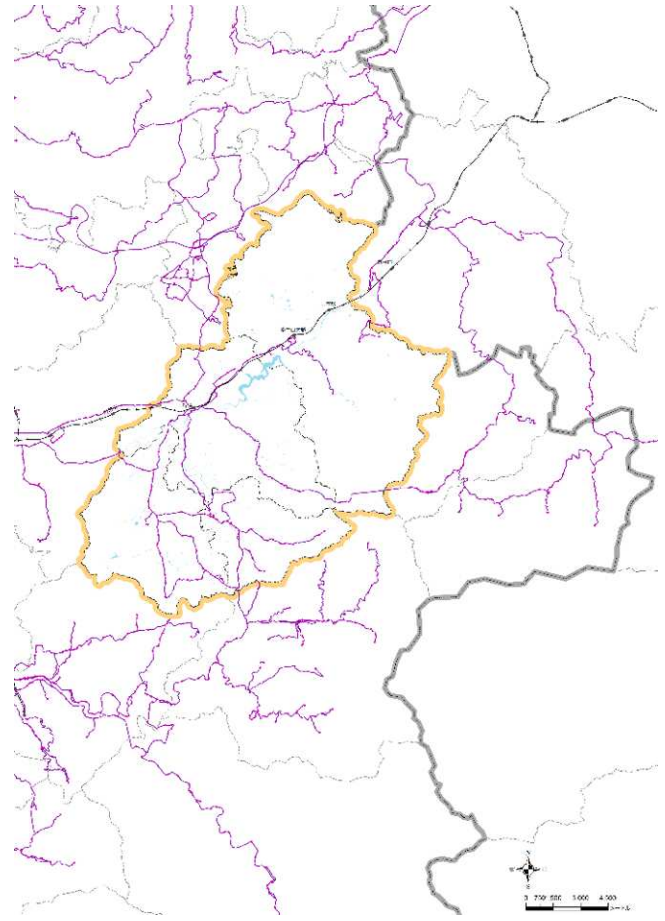


図 奈良県東部の公共交通網

出典) 国土数値情報

(3) 公共交通利用者数の状況

- ・市内の駅利用者数はいずれも減少傾向にあります。
- ・利用者数は榛原駅が最も多く、平成27年で198万人、次いで室生口大野駅が19万人、三本松駅が4万人となっています。
- ・定期利用は榛原駅で7割程度、室生口大野駅で6割程度、三本松駅は5割程度となっています。

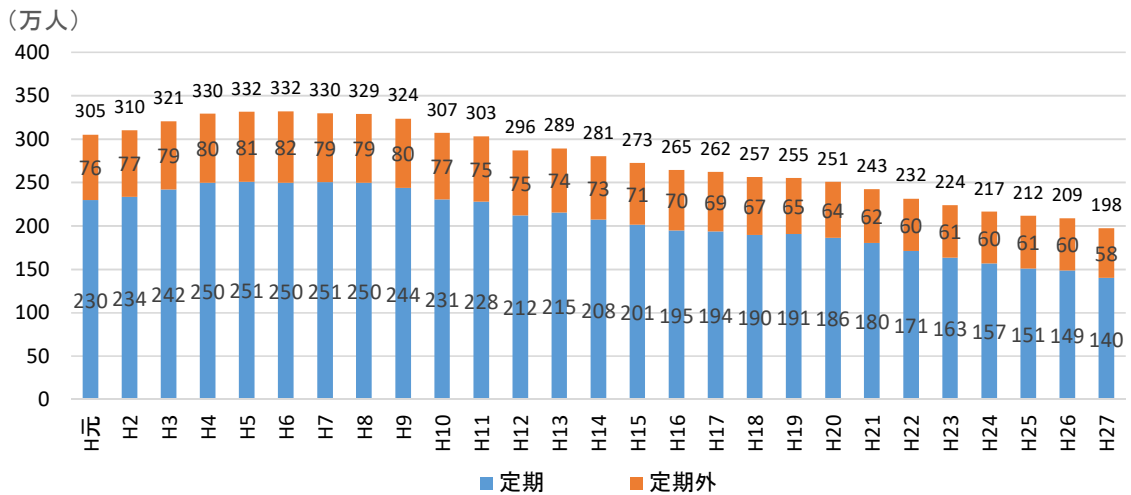


図 榛原駅の乗車人員の推移

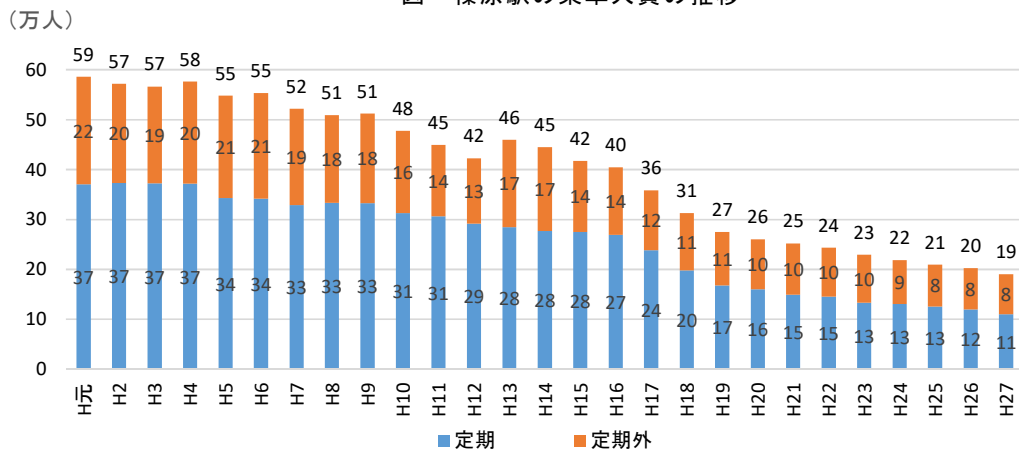


図 室生口大野駅の乗車人員の推移

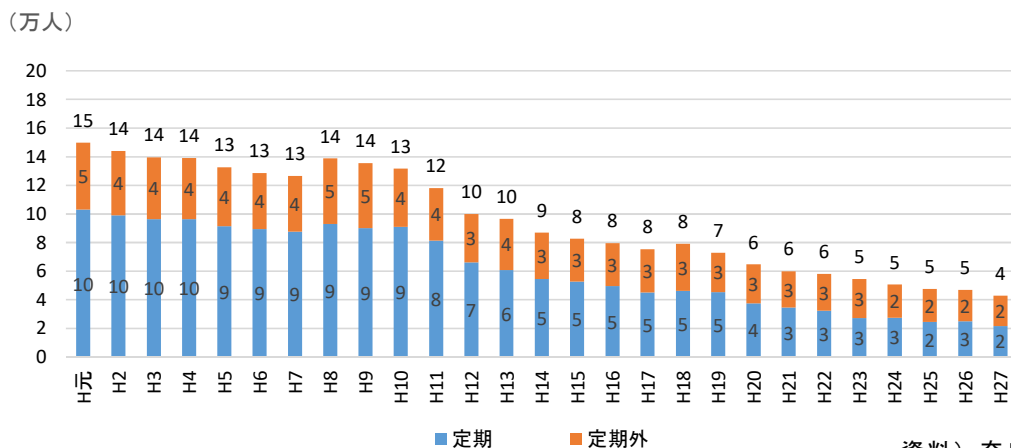


図 三本松駅の乗車人員の推移

資料) 奈良県統計

3.7 防災

(1) 土砂災害危険区域

・土砂災害警戒区域が市内全域に広がっています。

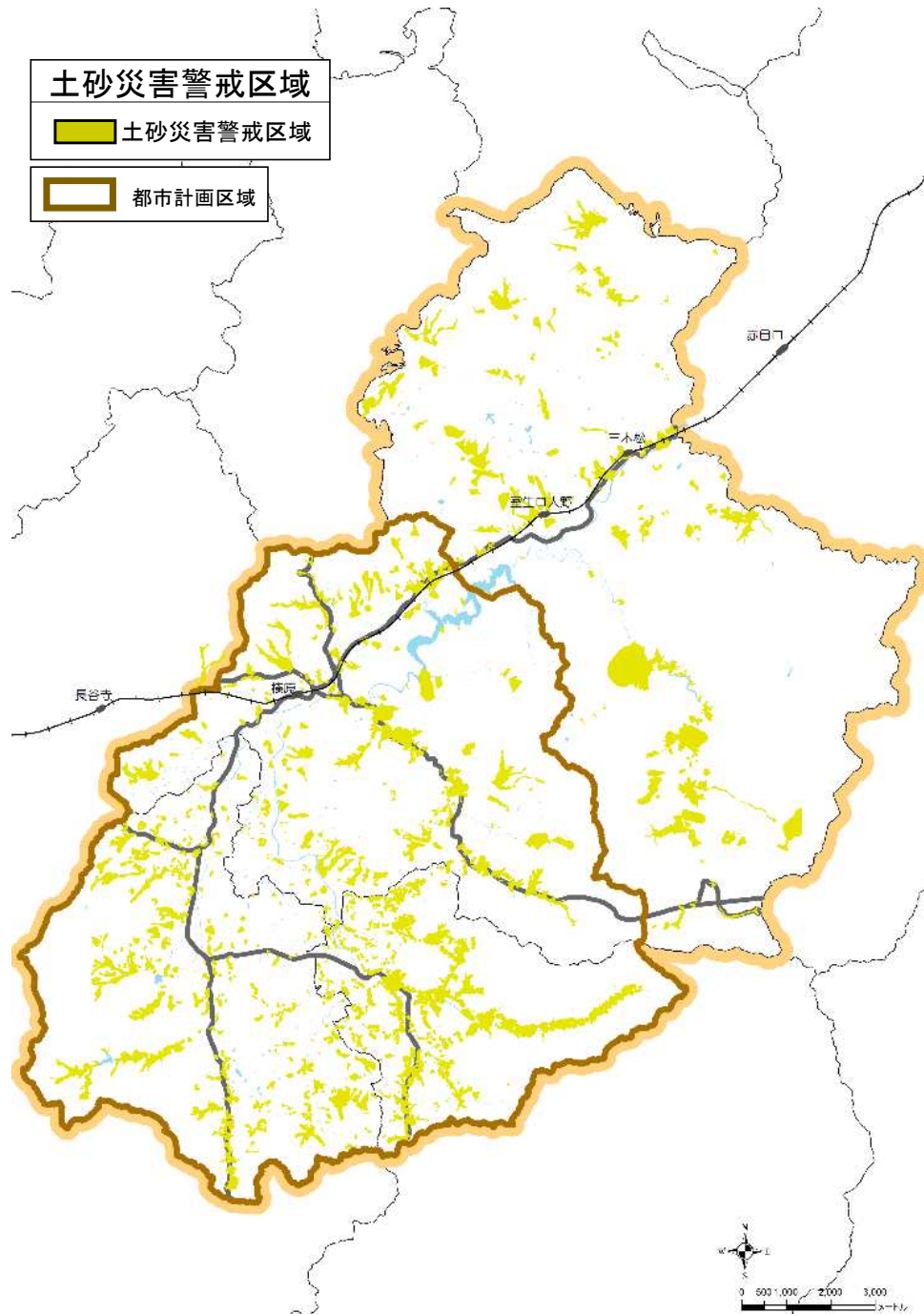


図 土砂災害警戒区域図

資料) 国土数値情報 (平成 27 年 7 月 1 日時点)

(2) 浸水想定区域

・宇陀川、芳野川沿いに浸水想定区域が広がっています。

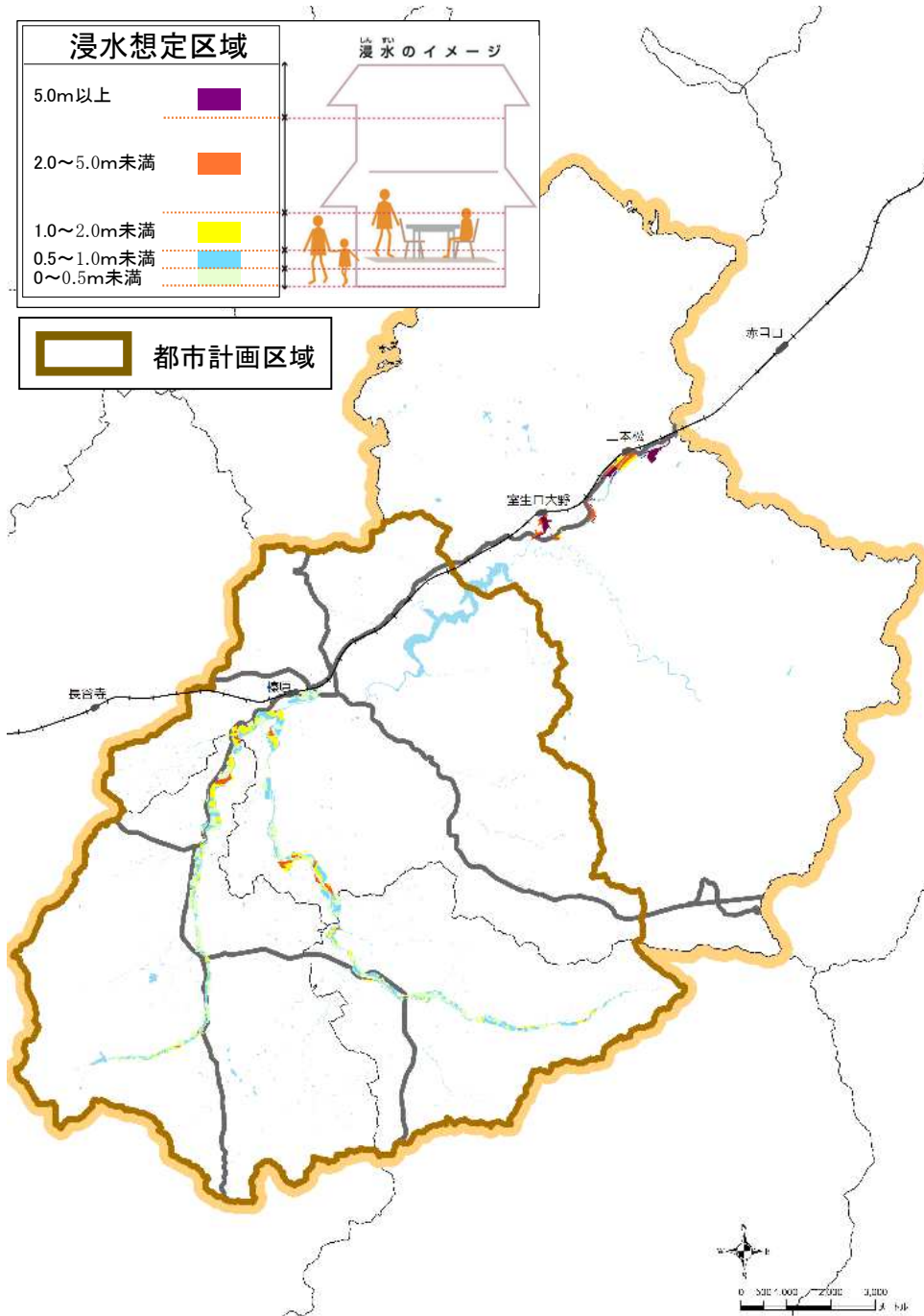


図 浸水想定区域図

資料) 国土数値情報 (平成 23 年度データ)

※国からは平成 29 年 6 月 14 日付で最新の浸水想定区域図が公表されています。

3.8 都市構造等の特性

(1) 行政施設

・行政施設周辺には人口が集積していますが、榛原駅西側を除き、平成47年には行政施設800m圏の人口も減少する予測となっています。

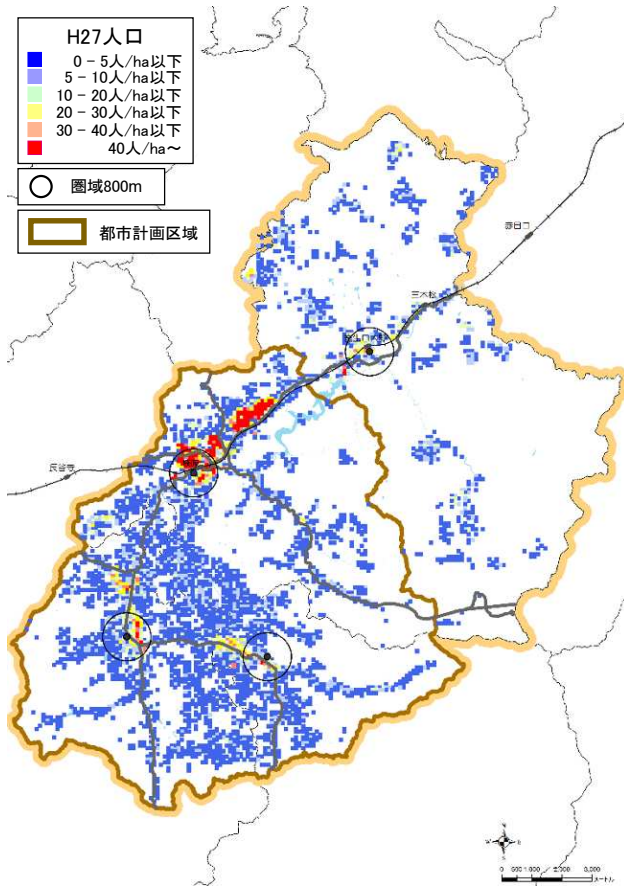


図 H27 人口+行政施設 800m圏域

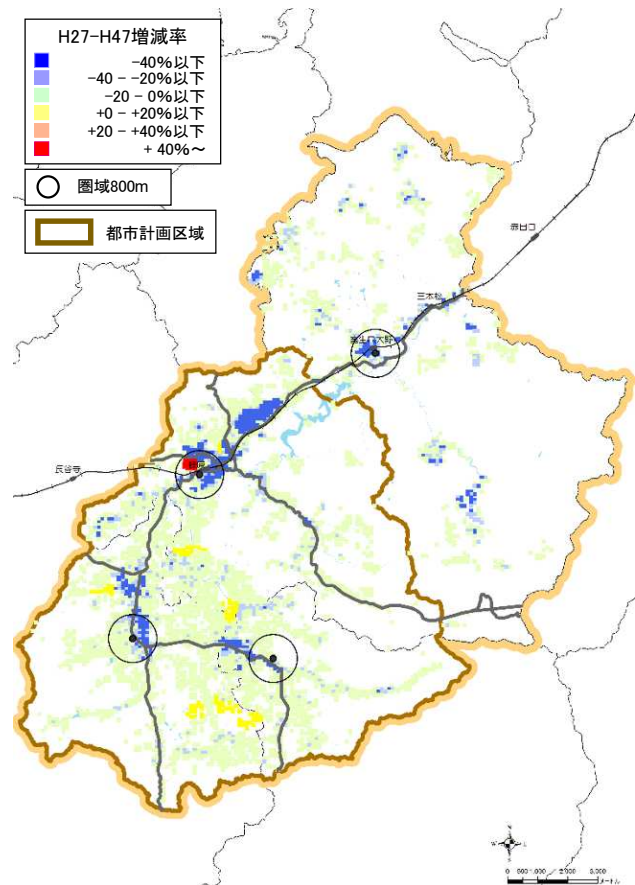


図 H27-H47 人口増減率+行政施設 800m圏域

(2) 文化施設

- ・文化施設は人口が集積する榛原地域や大宇陀地域に多く立地していますが、その他人口が少ない地域にも分散しています。
- ・平成47年には文化施設800m圏の人口は概ね減少する予測となっています。

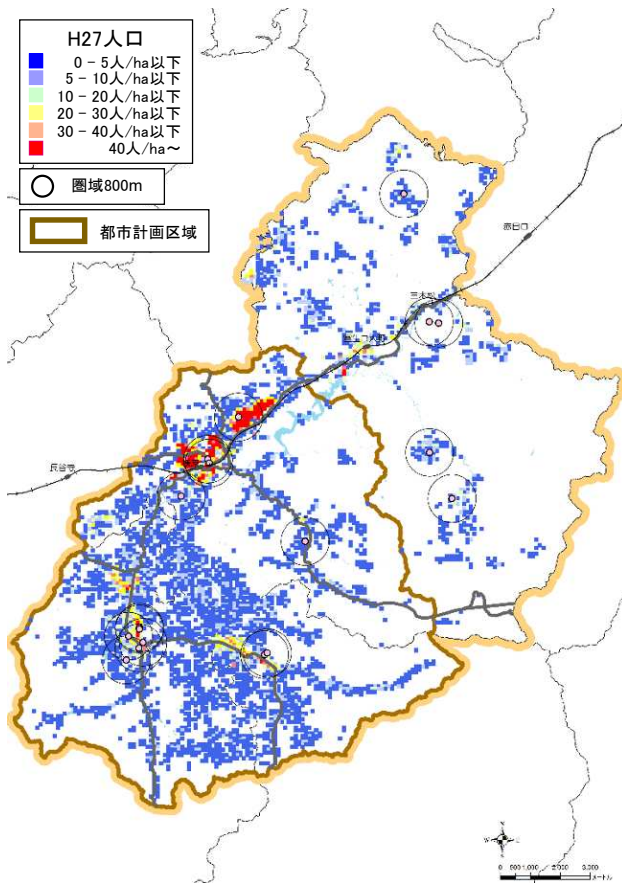


図 H27 人口+文化施設 800m圏域

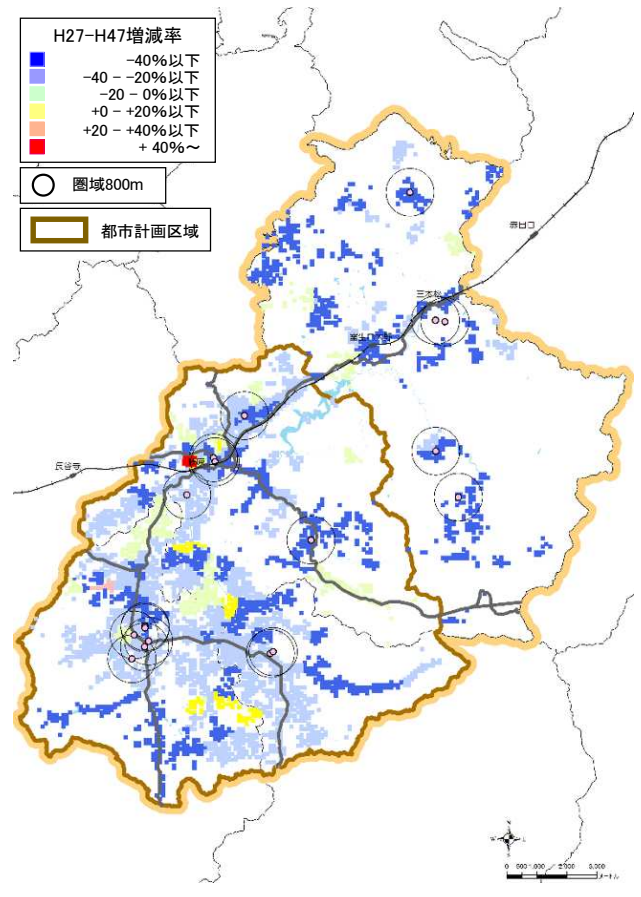


図 H27-H47 人口増減率+文化施設 800m圏域

(3) 学校施設

- ・学校は人口の集積する地域事務所周辺に固まって立地しています
- ・学校 800m圏の 5-14 歳人口は、概ね減少する予測となっています。

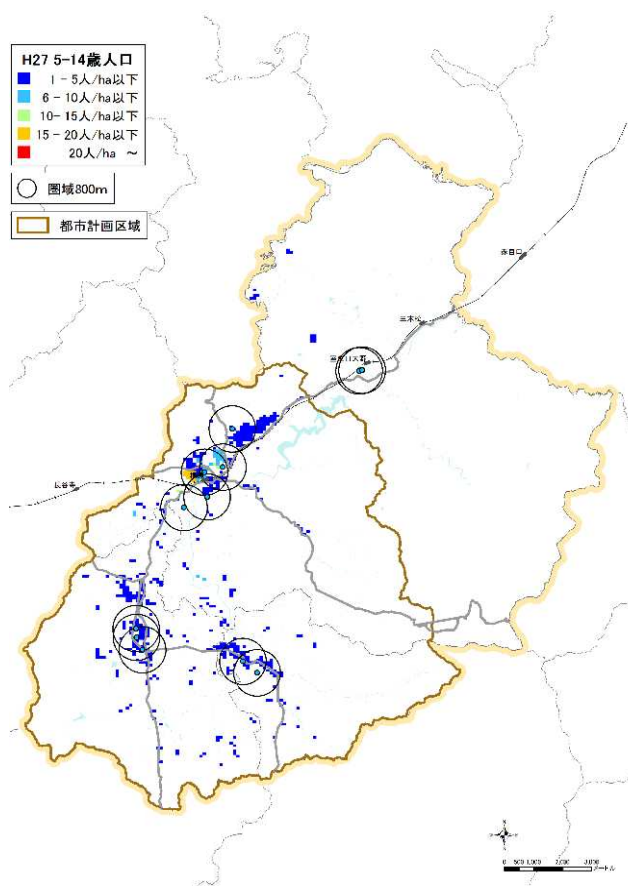


図 H27_5-14 歳人口+学校施設 800m圏域

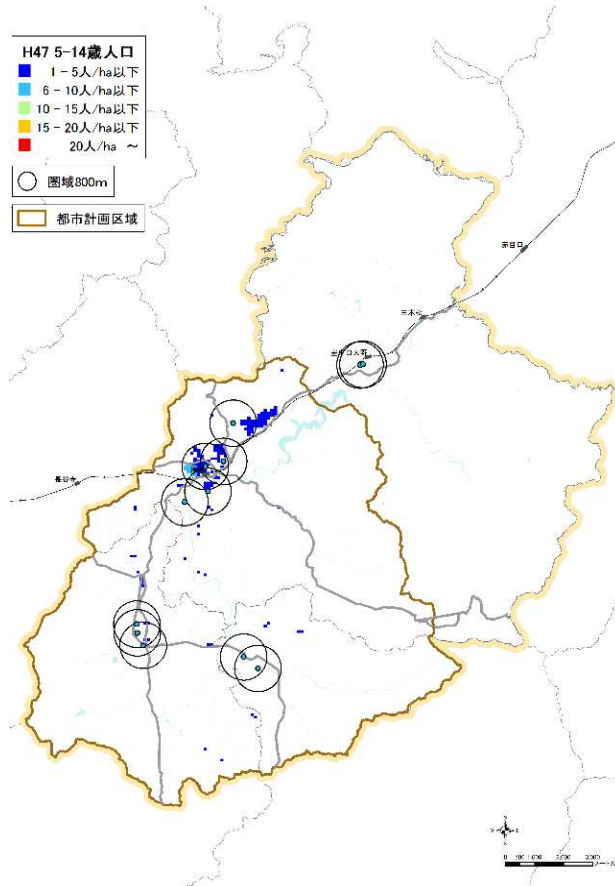


図 H47_5-14 歳人口+学校施設 800m圏域

(4) 保育施設

- ・保育施設は0-4歳人口の集積が多い榛原地域に多く立地しています。
- ・平成47年には、榛原地域の一部を除き、保育施設800m圏の0-4歳人口は減少する予測となっています。
- ・保育施設徒歩圏人口カバー率は、全人口、0-4歳人口ともに平成47年で平成27年よりも大きくなりますが、人口自体は減少するため、徒歩圏の人口密度は低下します。

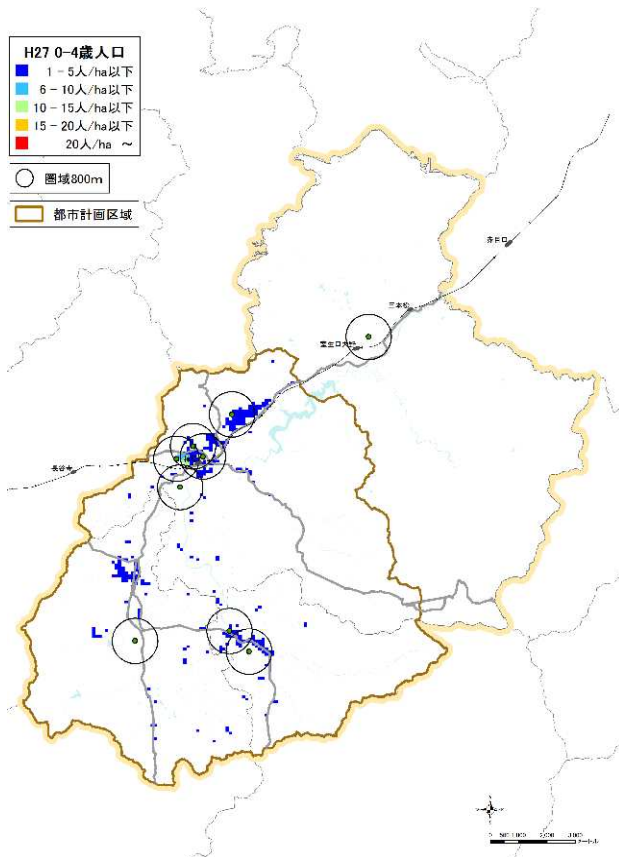


図 H27_0-4歳人口+保育施設800m圏域

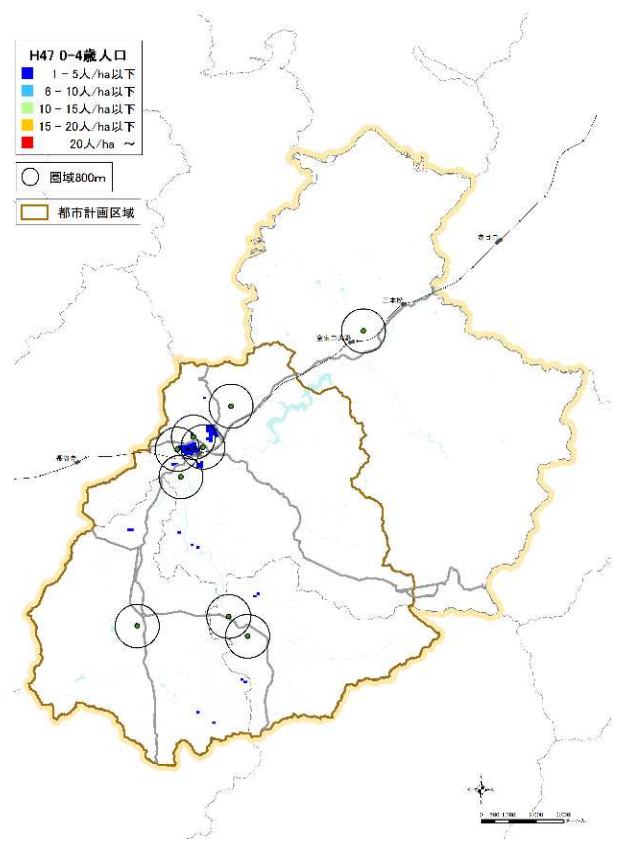


図 H47_0-4歳人口+保育施設800m圏域

表 保育施設の徒歩圏人口カバー率の見通し

	H27	H47	H47/H27 (カバー率、人口密度 は H47-H27)
全人口	31,105 人	22,038 人	70.9%
全0-4歳人口	777 人	446 人	57.4%
徒歩圏人口	15,154 人	11,928 人	78.7%
徒歩圏0-4歳人口	473 人	345 人	72.9%
徒歩圏人口カバー率	48.7%	54.1%	+5.4%
徒歩圏0-4歳人口カバー率	60.8%	77.3%	+16.5%
徒歩圏人口密度	10.22 人/ha	8.05 人/ha	-2.2 人/ha

(5) 医療施設

- ・医療施設は人口集積の多い箇所に立地していますが、平成47年には榛原駅西側を除き、医療施設800m圏の人口も減少する予測となっています。
- ・医療施設徒歩圏人口カバー率は、全人口、高齢者ともに平成47年で平成27年よりも大きくなりますが、人口自体は減少するため、徒歩圏の人口密度は低下します。

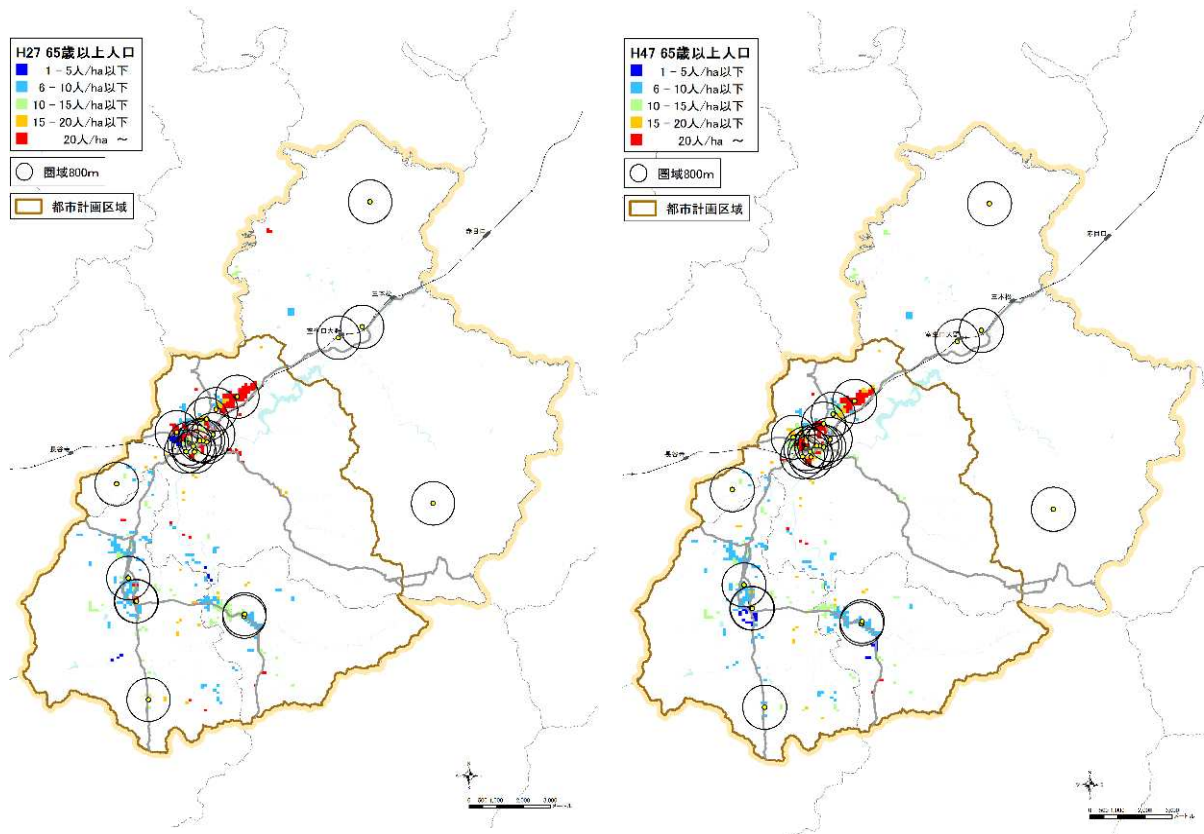


図 H27_65歳以上人口+医療施設800m圏域

図 H47_65歳以上人口+医療施設800m圏域

表 医療施設の徒歩圏人口カバー率の見通し

	H27	H47	H47/H27 (カバー率、人口密度 は H47-H27)
全人口	31,105 人	22,038 人	70.9%
全高齢者数	11,386 人	9,739 人	85.5%
徒歩圏人口	17,714 人	13,390 人	75.6%
徒歩圏高齢者人口	6,191 人	5,464 人	88.3%
徒歩圏人口カバー率	56.9%	60.8%	+3.9%
徒歩圏高齢者人口カバー率	54.4%	56.1%	+1.7%
徒歩圏人口密度	7.07 人/ha	5.34 人/ha	-1.7 人/ha

(6) 福祉施設

- ・福祉施設は高齢者の集積が多い榛原地域に多く立地しています。
- ・平成 47 年には福祉施設 1,000m 圏で高齢者が増加する地域もみられます。
- ・福祉施設利用圏人口カバー率は、全人口、高齢者ともに平成 47 年で平成 27 年よりも大きくなりますが、人口自体は減少するため、利用圏の人口密度は低下します。

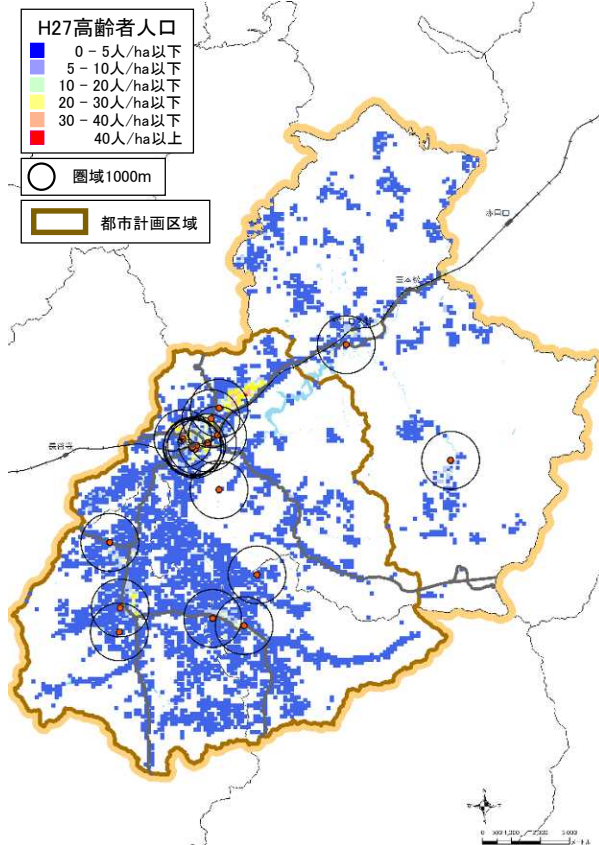


図 H27_65 歳以上人口+福祉施設 800m 圏域

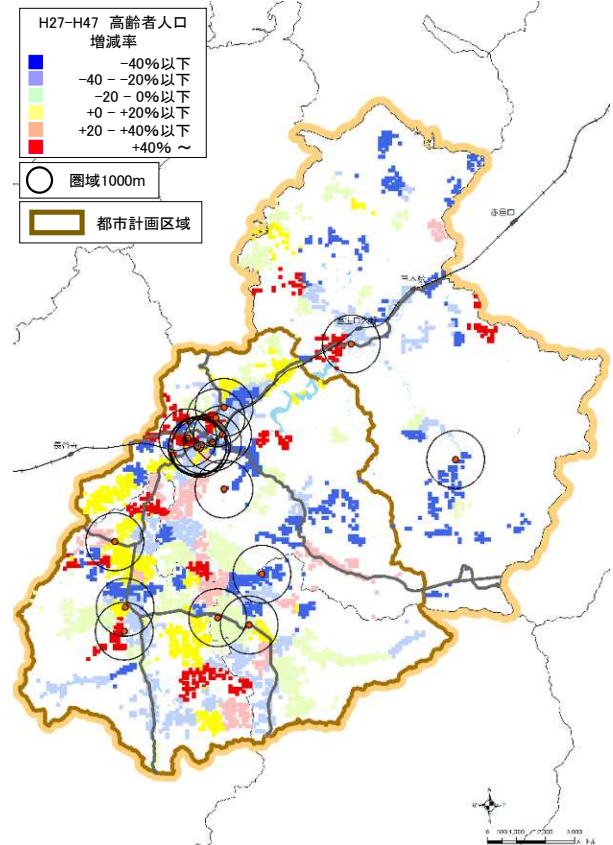


図 H27-H47_65 歳以上人口増減率+福祉施設 800m

表 福祉施設の徒歩圏人口カバー率の見通し

	H27	H47	H47/H27 (カバー率、人口密度 は H47 - H27)
全人口	31,105 人	22,038 人	70.9%
全高齢者数	11,386 人	9,739 人	85.5%
利用圏人口	18,879 人	14,323 人	75.9%
利用圏高齢者人口	6,469 人	5,964 人	92.2%
利用圏人口カバー率	60.7%	65.0%	+4.3%
利用圏高齢者人口カバー率	56.8%	61.2%	+4.4%
利用圏人口密度	5.71 人/ha	4.3 人/ha	-1.4 人/ha

(7) 商業施設

- ・福祉施設は高齢者の集積が多い榛原地域に多く立地しています。
- ・平成 47 年には福祉施設 1,000m 圏で高齢者が増加する地域もみられます。
- ・福祉施設利用圏人口カバー率は、全人口、高齢者ともに平成 47 年で平成 27 年よりも大きくなりますが、人口自体は減少するため、利用圏の人口密度は低下します。

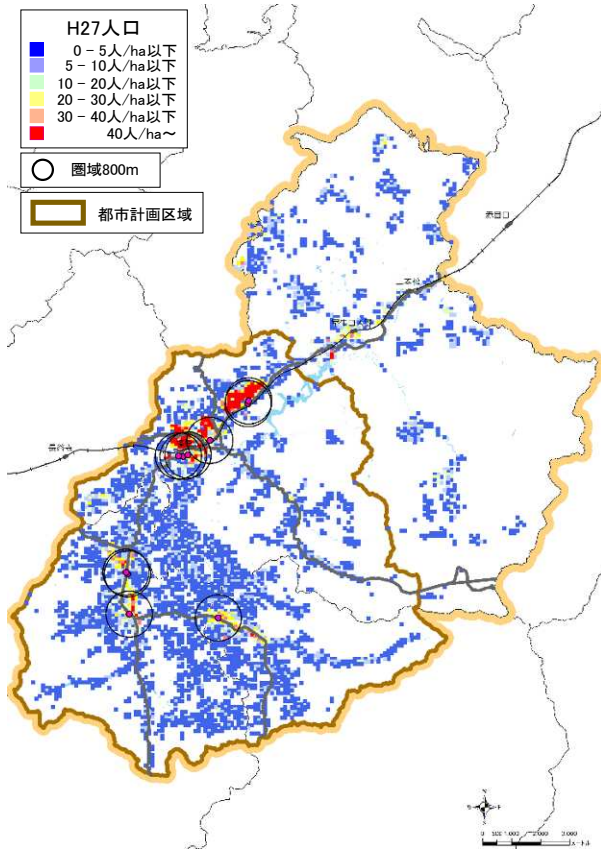


図 H27 人口+商業施設 800m 圏域

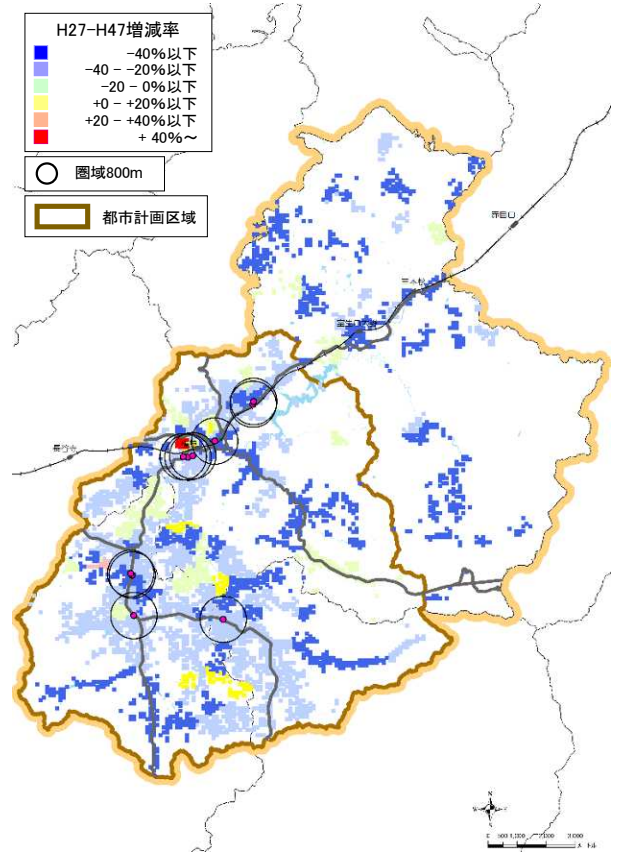


図 H27-H47 人口増減率+商業施設 800m 圏域

表 商業施設の徒歩圏人口カバー率の見通し

	H27	H47	H47/H27 (カバー率、人口密度 は H47 - H27)
全人口	31,105 人	22,038 人	70.9%
全高齢者数	11,386 人	9,739 人	85.5%
徒歩圏人口	15,690 人	12,119 人	77.2%
徒歩圏高齢者人口	5,342 人	4,919 人	92.1%
徒歩圏人口カバー率	50.4%	55.0%	+4.6%
徒歩圏高齢者人口カバー率	46.9%	50.5%	+3.6%
徒歩圏人口密度	12.94 人/ha	9.99 人/ha	-3.0 人/ha

表 各地域の現況

候補地	地区の概況	土地利用 (用途地域等)	公共公益施設 (1km 圏域)	交通拠点性
榛原 (市役所周辺)	公共公益施設が最も多く集積している宇陀市の中心的機能を担う地区である。 特急停車駅である榛原駅は、市内の路線バスのターミナルとしても機能している。 縁辺部等には天満台等の住宅の集積がある。	<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域が最も広い 駅周辺に商業・近隣商業地域 周辺に住居系指定 一部準工業 	行政:1 / 文化:5 / 医療:8 / 福祉:7 / 学校:3 / 子育て:4 / 商業:3	<ul style="list-style-type: none"> 特急停車駅である榛原駅が立地 同駅で市内の路線バスのターミナル機能を有する
大宇陀 (地域事務所周辺)	宇陀松山地区に代表される歴史資源のほか、うだアニマルパークなどの多くの観光資源を有する。 道の駅宇陀路大宇陀も市外からの誘客を集めるほか、路線バスのターミナルとして機能している。 旧大宇陀町の中心であり、榛原地区に次いで公共公益施設が多く分布している。	<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域指定あり 住居系中心 一部準工業 	行政:1 / 文化:8 / 医療:3 / 福祉:2 / 学校:3 / 子育て:1 / 商業:1	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅宇陀路大宇陀において、市内の路線バスのターミナル機能を有する
菟田野 (地域事務所周辺)	旧菟田野町の中心であり、総合病院である医療法人拓誠会社村病院が立地している。 人口集積は多くないが、住居系の用途地域指定がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域指定あり 住居系中心 一部準工業 	行政:1 / 文化:2 / 医療:2 / 福祉:1 / 学校:2	<ul style="list-style-type: none"> 榛原駅方面への路線バスが通過(ターミナル機能なし)

(参考)

室生 (地域事務所周辺) <都市計画区域外>	旧室生村の中心であり、鉄道駅を有する。 都市計画区域外であり、公共公益施設の立地も少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画区域外 	行政:1 / 医療:2 / 福祉:1 / 学校:2 / 子育て:1	<ul style="list-style-type: none"> 室生口大野駅が立地 室生寺へは路線バスが通っている
------------------------------	--	---	-----------------------------------	--

3.9 アクセシビリティ評価

(1) 近畿コンパクトシティガイドンスによる評価比較

・医療、福祉、保育、商業等の生活サービス施設の徒歩圏カバー率や、利用圏平均人口密度等、多くの指標が奈良県内及び近畿全府県平均より下回っています。

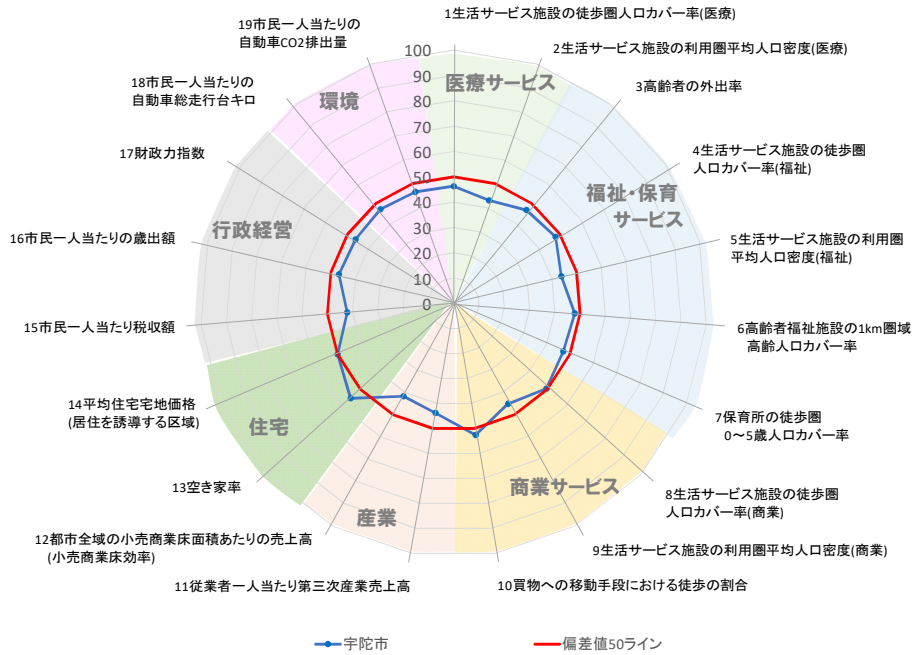


図 都市の評価指標 偏差値レーダーチャート（奈良県平均との比較）

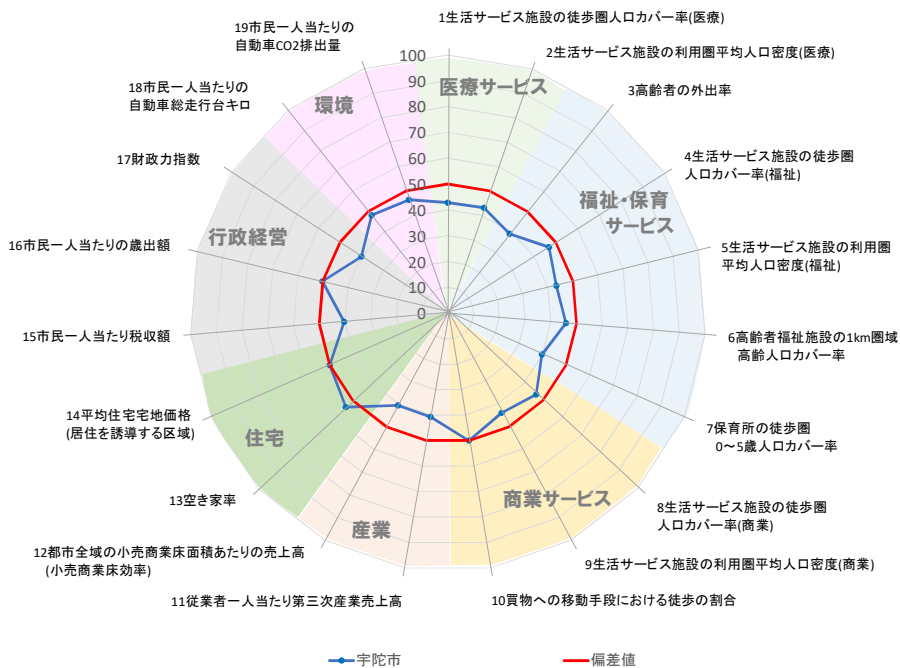


図 都市の評価指標 偏差値レーダーチャート（近畿全府県平均との比較）

(2) アクセシビリティの評価（公共交通の利用しやすさ）

・人口の約 28%が 30 分以内でアクセスできます。しかし、約 70%の人は 30 分以上となっています。

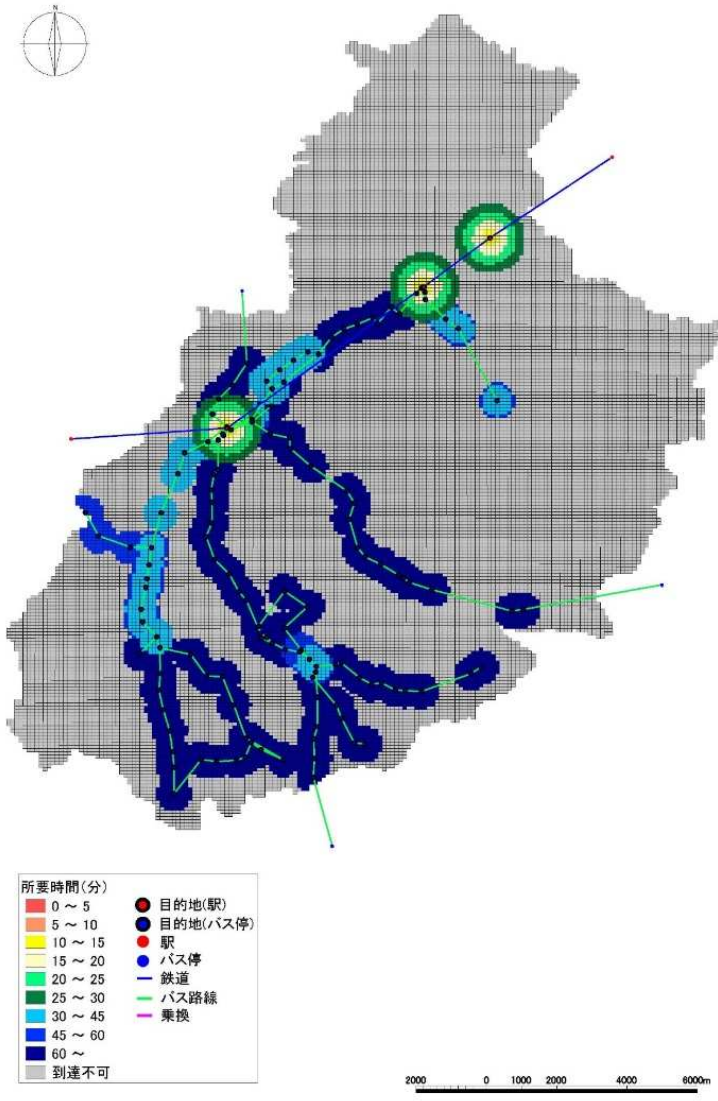


図 指標 A に対する T 指標

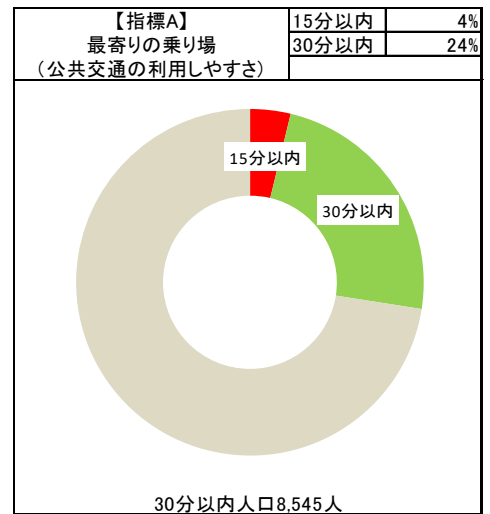


図 指標 A に対する P 指標

T 指標：都市内の各地点にかかる利便性を表す指標
 各地点のアクセシビリティ＝
 徒歩の移動時間＋公共交通の移動時間＋公共交通の待ち時間の期待値

P 指標：都市全体にかかるアクセシビリティレベルを表す指標
 都市全体のアクセシビリティ＝
 対象とするサービス施設の T 指標が一定の時間以内の居住人口/都市全体の人口

出典) 国土数値情報等

(3) アクセシビリティの評価（榛原駅へのアクセスしやすさ）

・宇陀市の中央駅である榛原駅には、30分以内で人口の約25%がアクセスできます。しかし、70%以上の方が30分以上となります。

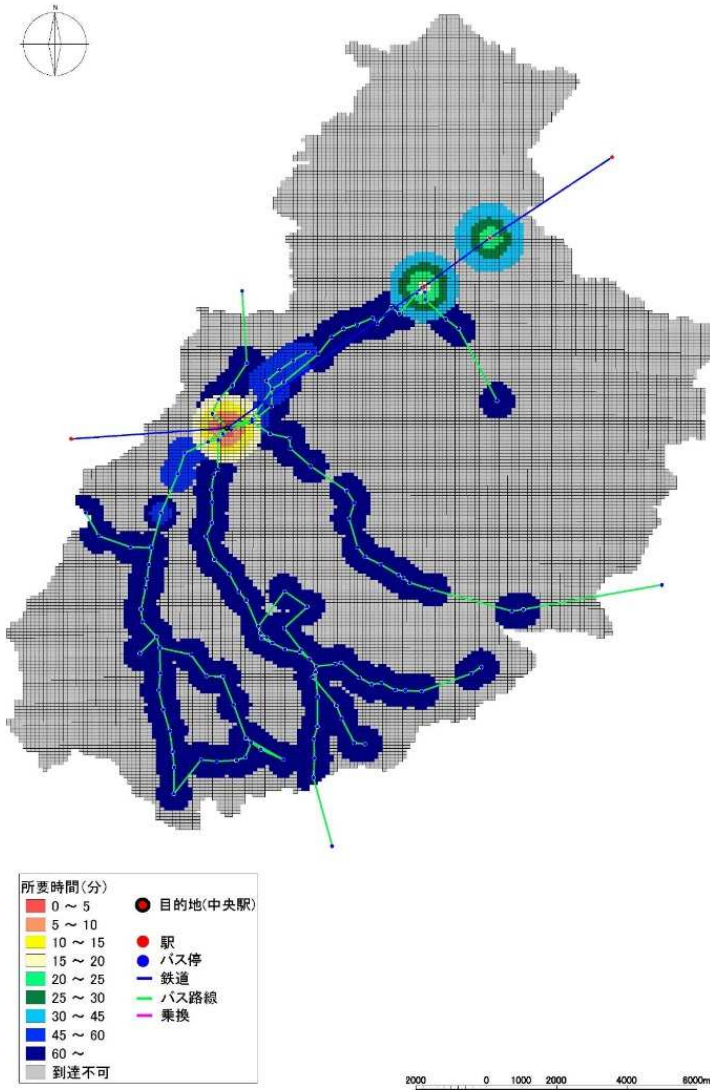


図 指標 B に対する T 指標

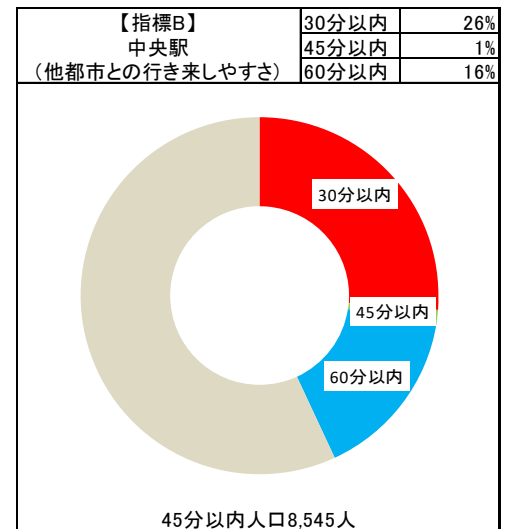


図 指標 B に対する P 指標

出典) 国土数値情報等

(4) アクセシビリティの評価（病院へのアクセスしやすさ）

・宇陀市立病院、医療法人拓誠会社村病院には、30分以内で約50%がアクセスできます。

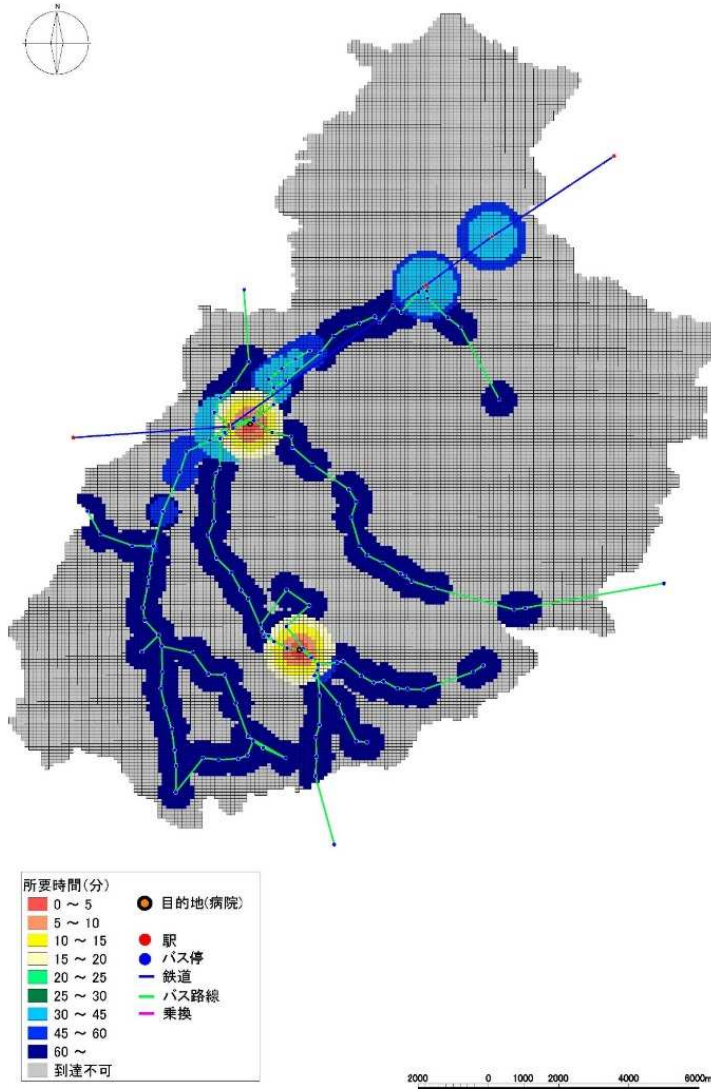


図 指標 C に対する T 指標

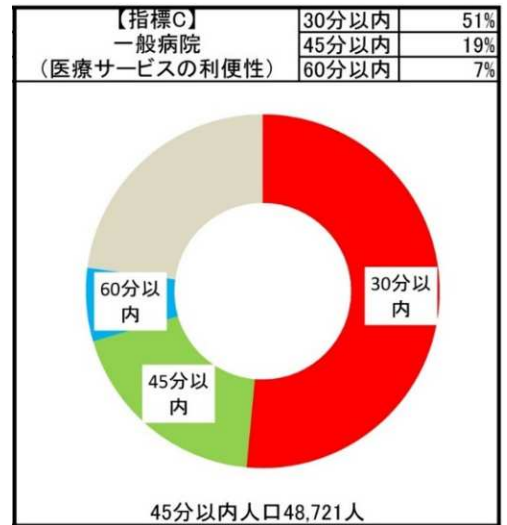


図 指標 C に対する P 指標

出典) 国土数値情報等